

2006(平成18)年度 大学評価(相互評価)
実践女子大学基礎データ

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2005年5月1日現在）

（表1）

名 称	開設年月日	所在地	備 考
文学部国文学科	1949年4月1日	東京都日野市大坂上4-1-1	
文学部英文学科	1949年4月1日	同 上	
文学部美学美術史学科	1985年4月1日	同 上	
生活科学部食生活科学科	1949年4月1日	同 上	
生活科学部生活環境学科	1965年4月1日	同 上	
生活科学部生活文化学科	1995年4月1日	同 上	
人間社会学部人間社会学科	2004年4月1日	同 上	
大学院文学研究科	1965年4月1日	同 上	
大学院生活科学研究科	1965年4月1日	同 上	
文芸資料研究所	1979年5月7日	同 上	
教職課程	1955年4月1日	同 上	
図書館学課程	1967年4月1日	同 上	
博物館学課程	1967年4月1日	同 上	
外国語教育研究センター	2004年4月1日	同 上	

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載すること。
 2 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載すること。
 3 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならい記載すること。
 4 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載すること。
 5 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、次表（表2）に記載すること。

2 全学の設置学部・学科、大学院研究科等（2006年4月1日現在）

（表2）

大 学 名	学 部	学 科	大学院研究科	専 攻
実践女子大学	文学部	国文学科	文学研究科	国文学専攻
		英文学科		英文学専攻
		美学美術史学科		美術史学専攻
	生活科学部	食生活科学科 管理栄養士専攻	生活科学研究科	食物栄養学専攻
		食物科学専攻		生活環境学専攻
		生活環境学科		
		生活文化学科		
	人間社会学部 ※	人間社会学科		

[注] 1 申請年（2006年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入すること。

2 申請年（2006年）度から学生受入を開始、もしくは学生募集を停止、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名には、< >にその旨を付記すること。

3 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に（ ）でその旨を明記すること。

4 申請年（2006年）4月時に完成年度に達していない学部・研究科には※を、申請資格充足年度（完成年度+1年）に達していない学部・研究科には（※）を付記すること。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
文学部	国文学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	23	23	47
			兼任担当科目数 (B)	10	13	39
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	69.7	63.9	54.7
	英文学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	27	16.5	52
			兼任担当科目数 (B)	19	13.5	48
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	58.7	55.0	52.0
	美学美術史学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	12	11	34
			兼任担当科目数 (B)	3	2	38
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	80.0	84.6	47.2
	文学部共通科目		専任担当科目数 (A)	0	0	10
兼任担当科目数 (B)			0	0	41	
専兼比率 % (A/(A+B)*100)			—	—	19.6	
生活科学部	食生活科学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	137	10	167
			兼任担当科目数 (B)	22	4	40
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	86.2	71.4	80.7
	生活環境学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	20	20	90
			兼任担当科目数 (B)	0	0	24
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	100.0	100.0	78.9
	生活文化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	33	1	64.5
			兼任担当科目数 (B)	7	1	18
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	82.5	50.0	78.2
	生活科学部共通科目		専任担当科目数 (A)	0	0	16.5
			兼任担当科目数 (B)	0	0	20.5
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	—	—	44.6

文学部・生活科学部共通科目			専任担当科目数 (A)	21	0	81
			兼任担当科目数 (B)	45	0	169
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	31.8	—	32.4
人間社会学部 後期	人間社会学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	48	16	71
			兼任担当科目数 (B)	4	16	32
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	92.3	50.0	68.9
	人間社会学部総合教養科目		専任担当科目数 (A)	26	0	53.8
			兼任担当科目数 (B)	12	0	70.2
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	68.4	0	43.4
教 職 課 程		専門教育	専任担当科目数 (A)	35	0	35
			兼任担当科目数 (B)	33	0	33
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	51.5	—	51.5
図 書 館 学 課 程		専門教育	専任担当科目数 (A)	6	0	7
			兼任担当科目数 (B)	13	0	17
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	31.6	—	29.2
博 物 館 学 課 程		専門教育	専任担当科目数 (A)	1	0	1
			兼任担当科目数 (B)	10	7	17
			専兼比率 % (A/(A+B)*100)	9.1	0.0	5.6

[注] 1 ここでの「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めること。

2 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付すこと。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養的な教育に分けて記入すること。

3 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表すること。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学部・学科		認定者数 (A)	他 大 学		短 期 大 学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C)/A
			認定単位数総数 (B)		認定単位数総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文 学 部	国 文 学 科	0	0	0	0	0	0
	英 文 学 科	0	0	0	0	0	0
	美学美術史学科	2	0	0	4	2	3
計		2	0	0	4	2	3
生 活 科 学 部	食生活科学科	0	0	0	0	0	0
	生活環境学科	1	0	0	0	2	2
	生活文化学科	11	0	0	20	0	1.8
計		12	0	0	20	2	1.7
人間社会学部	人間社会学科	11	0	0	36	0	3.3
計		11	0	0	36	0	3.3
合 計		25	0	0	60	4	2.6

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載すること。

2 2004年度の実績を記入すること。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C)/A
			認定単位数(B)		認定単位数(C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文学部	国文学科	0	0	0	0	0	0.0
	英文学科	0	0	0	0	0	0.0
	美学美術史学科	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0.0
生活科学部	食生活科学科	3	8	0	0	0	2.7
	生活環境学科	3	44	0	0	0	14.7
	生活文化学科	0	0	0	0	0	0.0
計		6	52	0	0	0	8.7
人間社会学部	人間社会学科	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0.0
合計		6	52	0	0	0	8.7

[注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学以前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載すること。

ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めること。

2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の専攻科における学修を、「その他」欄には①大学専攻科、②高等専門学校（大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの）、③専修学校専門課程（修業年限が2年以上のもの）（大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの）、④教育職員免許法に基づく認定講習・公開講座（大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの）、⑤社会教育主事講習（大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの）、⑥司書・司書補講習（大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの）、⑦司書教諭講習（大学において大学教育に相当する水準と認めたもの）を記載すること。

3 2004年度の実績を記入すること。

4 編入学生はここには含めないこと。

4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2002年度			2003年度			2004年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A * 100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A * 100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A * 100
文学部	国文学科	173	155	89.6%	163	143	87.7%	159	136	85.5%
	英文学科	187	173	92.5%	195	179	91.8%	158	142	89.9%
	美学美術史学科	106	101	95.3%	86	80	93.0%	99	93	93.9%
計		466	429	92.1%	444	402	90.5%	416	371	89.2%
生活科学部	食生活科学科	168	163	97.0%	167	162	97.0%	185	182	98.4%
	生活環境学科	116	114	98.3%	117	114	97.4%	106	103	97.2%
	生活文化学科	112	108	96.4%	108	104	96.3%	122	120	98.4%
計		396	385	97.2%	392	380	96.9%	413	405	98.1%

[注]「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指す。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻		学位	2000年度	2001年度	2003年度	2004年度	2005年度	備考
文学研究科	国文学専攻	修士	4	2	7	5	10	
		博士(課程)	0	1	0	0	0	
		博士(論文)	1	1	0	0	0	
	英文学専攻	修士	3	3	2	1	3	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	
	美術史学専攻	修士	7	11	7	10	9	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	
生活科学研究科	食物・栄養学専攻	修士	1	5	4	2	3	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	2005年4月1日設置
		博士(論文)	—	—	—	—	—	
	生活環境学専攻	修士	1	4	3	3	4	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	

[注] 当該研究科もしくは専攻、課程が最近設置され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその設置年月日を記載すること。

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路		2002年度	2003年度	2004年度
文 学 部	就 職	民 間 企 業	248	263	255
		官 公 庁	10	4	4
		教 員	5	3	4
		上 記 以 外	0	0	0
	進 学	自 大 学 院	16	7	10
		他 大 学 院	0	1	2
	そ の 他		144	121	96
合 計		423	399	371	
生 活 科 学 部	就 職	民 間 企 業	282	273	330
		官 公 庁	4	12	5
		教 員	3	9	6
		上 記 以 外	0	0	0
	進 学	自 大 学 院	7	2	5
		他 大 学 院	0	3	2
	そ の 他		85	80	57
	合 計		381	379	405

[注] 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入すること。

7 国家試験合格率

(表9)

学部・学科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A * 100
生活科学部	管理栄養士	86	75	87.2

- [注] 1 たとえば「医師国家試験」、「歯科医師国家試験」、「薬剤師国家試験」などのように、当該学部もしくは学科・課程の最終学年に在籍する学生のうち、相当数の割合の者が受験する国家試験について記載すること。
- 2 2004年度実績について記入すること。

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究	学部 研究 科	年間開設講座数	1講座当たりの 平均受講者数	備考
実践女子大学		9	66	

[注] 2004年度実績について記入すること。

9 国別国際交流協定締結先機関

(表11)

大学・学部 研究科・研究所等	アメリカ合衆国	中華人民共和国	カナダ	イギリス	韓国		合計
実践女子大学		1	1		1		3
国際交流センター(※)	1	1		2			4

[注] 大学・学部・大学院研究科・研究所等ごとに国別に交流協定締結機関数を記入すること。

※国際交流センターは「実践女子学園国際交流規程」および「実践女子大学・実践女子短期大学国際交流センター規程」に則り、実践女子大学・実践女子短期大学における国際交流を効果的に推進することを目的に設置された学園組織である。学園の組織であることから、基礎データ表1への記載はおこなっていない。詳細については、報告書本編第17章「大学の教育研究に連関する研究所及び学園組織」を参照されたい。

※なお、国際交流センターが締結している協定は、語学研修に関わる協定である。

10 人的国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2002年度		2003年度		2004年度		2002年度		2003年度		2004年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
文 学 部	新規	0	2	0	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	継続	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
文 学 研 究 科	新規	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生 活 科 学 部	新規	1	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-
	継続	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
生 活 科 学 研 究 科	新規	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人 間 社 会 学 部	新規	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	継続	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
計	新規	1	2	0	3	1	1	-	-	-	-	-	-
	継続	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

[注] 1 研究者（教員を含む）の派遣、受け入れとも1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」とする。

2 各派遣者および受け入れ者について、派遣および受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入すること。

3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者および受け入れ者について記入すること。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
文 学 部	国	一般入試	志願者	393	368	412	463	530
			合格者	289	248	259	290	334
			入学者	108	89	83	102	95
			募集定員	70	63	70	65	65
	文	A O 入試	志願者	—	6	9	9	8
			合格者	—	6	9	9	8
			入学者	—	6	9	9	8
			募集定員	—	5	10	10	10
	学	附属校推薦	志願者	8	1	2	3	2
			合格者	8	1	2	3	2
			入学者	8	1	2	3	2
			募集定員	15	12	10	8	8
	科	指定校推薦	志願者	29	28	24	23	30
			合格者	29	28	24	23	30
			入学者	29	28	24	23	30
			募集定員	42	40	25	25	25
	部	公募推薦入試	志願者	11	9	16	9	9
			合格者	10	8	16	9	9
			入学者	9	7	16	9	9
			募集定員	10	10	10	10	10
	その他	志願者	0	0	0	0	0	
		合格者	0	0	0	0	0	
		入学者	0	0	0	0	0	
		募集定員	0	0	0	2	2	
	合計	志願者	441	412	463	507	579	
		合格者	336	291	310	334	383	
		入学者	154	131	134	146	144	
		募集定員	137	130	125	120	120	

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
文 学 部	英	一般入試	志願者	467	456	557	463	530
			合格者	318	297	381	290	334
			入学者	114	81	115	102	95
			募集定員	100	95	83	81	81
	A O 入試	志願者	—	13	11	9	8	
		合格者	—	13	11	9	8	
		入学者	—	12	11	9	8	
		募集定員	—	5	8	10	10	
	附属校推薦	志願者	9	4	6	3	2	
		合格者	9	4	6	3	2	
		入学者	9	4	6	3	2	
		募集定員	20	10	10	7	7	
	指定校推薦	志願者	18	17	15	23	30	
		合格者	18	17	15	23	30	
		入学者	18	17	15	23	30	
		募集定員	12	10	14	10	15	
	公募推薦入試	志願者	7	11	8	9	9	
		合格者	6	11	7	9	9	
		入学者	5	11	7	9	9	
		募集定員	5	10	10	10	5	
	その他	志願者	2	0	1	0	0	
		合格者	0	0	1	0	0	
		入学者	0	0	0	0	0	
		募集定員	0	0	0	2	2	
	合計	志願者	503	501	598	507	579	
		合格者	351	342	421	334	383	
		入学者	146	125	154	146	144	
		募集定員	137	130	125	120	120	

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
文 学 部	美 学 美 術 史 学 科	一 般 入 試	志 願 者	149	232	294	249	290
			合 格 者	135	171	205	198	195
			入 学 者	59	52	68	65	61
			募集定員	65	55	60	60	55
		A O 入 試	志 願 者	4	11	10	10	17
			合 格 者	4	11	10	10	17
			入 学 者	4	11	10	10	17
			募集定員	5	8	10	10	10
		附 属 校 推 薦	志 願 者	8	3	1	6	1
			合 格 者	8	3	1	6	1
			入 学 者	8	3	1	6	1
			募集定員	10	10	10	7	7
		指 定 校 推 薦	志 願 者	18	26	26	14	19
			合 格 者	18	26	26	14	19
			入 学 者	18	26	26	14	19
			募集定員	10	17	10	10	20
		公 募 推 薦 入 試	志 願 者	3	7	8	2	2
			合 格 者	3	6	8	2	2
			入 学 者	3	6	6	2	2
			募集定員	10	10	10	10	5
		そ の 他	志 願 者	0	0	0	0	1
			合 格 者	0	0	0	0	1
			入 学 者	0	0	0	0	1
			募集定員	0	0	0	3	3
		合 計	志 願 者	182	279	339	281	329
			合 格 者	168	217	250	230	234
			入 学 者	92	98	111	97	100
			募集定員	100	100	100	100	100

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
生 活 科 学 部	食 生 活 科 学 科	一 般 入 試	志 願 者	616	1,160	968	854	1,039
			合 格 者	217	222	193	198	207
			入 学 者	127	104	89	92	86
			募集定員	85	106	106	101	101
		A O 入 試	志 願 者	—	—	—	—	—
			合 格 者	—	—	—	—	—
			入 学 者	—	—	—	—	—
			募集定員	—	—	—	—	—
		附 属 校 推 薦	志 願 者	26	21	20	23	17
			合 格 者	26	21	20	23	17
			入 学 者	26	21	20	23	17
			募集定員	22	20	17	17	17
		指 定 校 推 薦	志 願 者	26	52	41	41	45
			合 格 者	26	52	41	41	45
			入 学 者	26	52	41	41	45
			募集定員	20	18	18	15	15
		公 募 推 薦 入 試	志 願 者	—	16	40	27	30
			合 格 者	—	9	19	21	24
			入 学 者	—	9	19	21	24
			募集定員	—	10	10	10	10
		そ の 他	志 願 者	0	1	1	6	3
			合 格 者	0	1	1	2	2
			入 学 者	0	1	0	2	1
			募集定員	0	0	0	2	2
		合 計	志 願 者	668	1,250	1,070	951	1,134
			合 格 者	269	305	274	285	295
			入 学 者	179	187	169	179	173
			募集定員	127	154	151	145	145

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	一 般 入 試	志 願 者	232	303	327	252	404
			合 格 者	118	164	154	164	185
			入 学 者	55	68	48	48	44
			募集定員	65	60	55	55	55
		A O 入 試	志 願 者	—	—	—	—	—
			合 格 者	—	—	—	—	—
			入 学 者	—	—	—	—	—
			募集定員	—	—	—	—	—
		附 属 校 推 薦	志 願 者	26	11	6	10	12
			合 格 者	26	11	6	10	12
			入 学 者	26	11	6	10	12
			募集定員	10	8	8	7	7
	指 定 校 推 薦	志 願 者	23	20	25	23	22	
		合 格 者	23	20	25	23	22	
		入 学 者	23	20	25	23	22	
		募集定員	8	9	9	6	6	
	公 募 推 薦 入 試	志 願 者	—	16	24	10	17	
		合 格 者	—	14	15	10	17	
		入 学 者	—	14	15	10	16	
		募集定員	—	10	10	10	10	
	そ の 他	志 願 者	1	1	2	1	2	
		合 格 者	1	1	2	1	2	
		入 学 者	0	1	1	0	2	
		募集定員	0	0	0	2	2	
	合 計	志 願 者	282	351	384	296	457	
		合 格 者	168	210	202	208	238	
		入 学 者	104	114	95	91	96	
		募集定員	83	87	82	80	80	

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
生 活 科 学 部	生 活 文 学 科	一 般 入 試	志 願 者	182	178	209	230	373
			合 格 者	115	121	136	164	111
			入 学 者	57	53	48	60	50
			募集定員	50	48	48	45	44
		A O 入 試	志 願 者	12	17	16	21	24
			合 格 者	12	17	16	21	24
			入 学 者	12	17	15	21	24
			募集定員	5	10	10	15	15
		附 属 校 推 薦	志 願 者	18	15	7	11	12
			合 格 者	18	15	7	11	12
			入 学 者	18	15	7	11	12
			募集定員	5	12	12	10	10
	指 定 校 推 薦	志 願 者	16	10	18	22	27	
		合 格 者	16	10	18	22	27	
		入 学 者	16	10	18	22	27	
		募集定員	5	5	5	8	12	
	公 募 推 薦 入 試	志 願 者	9	4	3	3	4	
		合 格 者	9	4	2	3	3	
		入 学 者	9	4	2	3	3	
		募集定員	15	10	10	5	2	
	そ の 他	志 願 者	1	2	2	0	1	
		合 格 者	1	2	2	0	1	
		入 学 者	1	1	1	0	1	
		募集定員	0	0	0	2	2	
	合 計	志 願 者	238	226	255	287	441	
		合 格 者	171	169	181	221	178	
		入 学 者	113	100	91	117	117	
		募集定員	80	85	85	85	85	

(表13)

		入試の種類	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	
人間社会学部	人間社会学科	一般入試	志願者	—	—	—	251	647
			合格者	—	—	—	85	254
			入学者	—	—	—	38	63
			募集定員	—	—	—	60	60
		A O 入試	志願者	—	—	—	21	15
			合格者	—	—	—	21	15
			入学者	—	—	—	21	15
			募集定員	—	—	—	10	10
		附属校推薦	志願者	—	—	—	24	21
			合格者	—	—	—	24	21
			入学者	—	—	—	24	21
			募集定員	—	—	—	15	15
	指定校推薦	志願者	—	—	—	93	52	
		合格者	—	—	—	93	52	
		入学者	—	—	—	92	52	
		募集定員	—	—	—	35	40	
	公募推薦入試	志願者	—	—	—	13	10	
		合格者	—	—	—	5	8	
		入学者	—	—	—	5	6	
		募集定員	—	—	—	10	12	
	その他	志願者	—	—	—	11	2	
		合格者	—	—	—	3	2	
		入学者	—	—	—	3	0	
		募集定員	—	—	—	10	3	
	合計	志願者	—	—	—	413	747	
		合格者	—	—	—	231	352	
		入学者	—	—	—	183	157	
		募集定員	—	—	—	140	140	

- [注] 1 「その他」欄には社会人、外国人留学生、帰国生徒に対する入試等についてまとめて記入すること。
ただし、上記の表に該当しない推薦入試を実施している場合は、「その他の推薦入試」欄を設けて作表すること。
また、それ以外に相当数の学生を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入すること。なお、該当しない入試方法の欄は削除すること。
- 2 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表すること。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員(A)	在籍学生総数(B)	編入学生数(内数)	B/A	在籍学生数								備考
								第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
								学生数	留年者数(内数)	学生数	留年者数(内数)	学生数	留年者数(内数)	学生数	留年者数(内数)	
文学部	国文学科	120	15	525	571	9	1.09	144	/	143	/	134	/	150	16	※第3年次編入
	英文学科	120	15	525	572	15	1.09	137	/	135	/	158	/	142	12	※第3年次編入
	美学美術史学科	100	10	420	392	1	0.93	101	/	95	/	101	/	95	3	※第3年次編入
計		340	40	1470	1535	25	1.04	382	0	373	0	393	0	387	31	
生活科学部	食生活科学科	145	19	633	726	12	1.15	173	/	180	/	179	/	194	2	※第3年次編入
	生活環境学科	80	10	349	403	4	1.15	96	/	92	/	100	/	115	1	※第3年次編入
	生活文化学科	85	15	370	437	12	1.18	117	/	110	/	103	/	107	2	※第3年次編入
計		310	44	1352	1566	28	1.16	386	0	382	0	382	0	416	5	
人間社会学部	人間社会学科	140	20	600	337	/	1.20	157	/	180	/	/	/	/	/	※第3年次編入 ※平成16年度新設
合計		790	104	3422	3438	53	1.00	925	0	935	0	775	0	803	36	

[注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入すること。

2 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入学定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記すること。期間を付した入学定員増（臨時増募）を行っている場合も「備考」欄に具体的に注記すること。

3 医・歯学部、獣医学部（あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の場合には、第6年次まで作成すること。

4 編入学定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入すること。

5 留年者には、休学や留学によって進級の遅れた者は含めないこと。

6 「B/A」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。

7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成すること。

※人間社会学部人間社会学科の「B/A」については、完成年度を迎えていないため、「在籍学生総数/現在までの収容定員（280名）」で計算した。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数							備 考
			一般入試	AO入試	附属校 推 薦	指定校 推 薦	公募推薦 入 試	その他	計	
文 学 部	国 文 学 科	募 集 定 員	65	10	8	25	10	2	120	
		入 学 者 数	95	8	2	30	9	0	144	
		計に対する割合	66%	6%	1%	21%	6%	0%	100%	
	英 文 学 科	募 集 定 員	81	10	7	15	5	2	120	
		入 学 者 数	95	9	4	23	4	1	136	
		計に対する割合	70%	7%	3%	17%	3%	1%	100%	
	美学美術史学科	募 集 定 員	55	10	7	20	5	3	100	
		入 学 者 数	61	17	1	19	2	1	101	
		計に対する割合	62%	17%	1%	19%	2%	1%	100%	
合 計		募 集 定 員	201	30	22	60	20	7	340	
		入 学 者 数	251	34	17	72	15	2	381	
		計に対する割合	66%	9%	4%	19%	4%	1%	100%	
生活科学部	食生活科学科	募 集 定 員	101	—	17	15	10	2	145	
		入 学 者 数	86	—	17	45	24	1	173	
		計に対する割合	50%	—	10%	26%	14%	1%	100%	
	生活環境学科	募 集 定 員	55	—	7	6	10	2	80	
		入 学 者 数	44	—	12	22	16	2	96	
		計に対する割合	46%	—	13%	23%	17%	2%	100%	
	生活文化学科	募 集 定 員	44	15	12	12	2	2	85	
		入 学 者 数	50	24	12	27	3	1	117	
		計に対する割合	43%	21%	10%	23%	3%	1%	100%	
合 計		募 集 定 員	200	15	36	33	22	6	310	
		入 学 者 数	180	24	41	94	43	4	386	
		計に対する割合	47%	6%	11%	24%	11%	1%	100%	

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数							備 考
			一般入試	AO入試	附属校 推 薦	指定校 推 薦	公募推薦 入 試	その他	計	
人間社会学部	人間社会学科	募 集 定 員	60	10	15	40	12	3	140	
		入 学 者 数	63	15	21	52	6	0	157	
		計に対する割合	40%	10%	13%	33%	4%	0%	100%	
合 計		募 集 定 員	60	10	15	40	12	3	140	
		入 学 者 数	63	15	21	52	6	0	157	
		計に対する割合	40%	10%	13%	33%	4%	0%	100%	

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」と同様の区分で作成すること。
- 2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する割合を記入すること。
- 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めること。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表すること。
- 5 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入すること。

4 学部の社会人学生・留学生・帰国生徒数

(表16)

学 部	学 科	社会人学生数	留 学 生 数	帰 国 生 徒 数
文 学 部	国 文 学 科			
	英 文 学 科			
	美学美術史学科			
計				
生 活 科 学 部	食生活科学科	1		
	生活環境学科		1	
	生活文化学科			
計		1	1	
人 間 社 会 学 部	人 間 社 会 学 科			
計				
合 計		1	1	

[注] 社会人、留学生、帰国生徒としてここに挙げるのは、一般の学生を対象とした入試とは別にそれぞれの入試によって入学させた学生をいう。科目等履修生、聴講生は含めない。

5 学部・学科の退学者数

(表17)

学 部	学 科	2002年度					2003年度					2004年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
文 学 部	国 文 学 科	0	5	4	5	14	3	2	4	6	15	2	4	1	4	11
	英 文 学 科	3	3	3	3	12	1	0	4	4	9	5	5	1	3	14
	美学美術史学科	1	5	1	2	9	4	1	4	2	11	2	6	5	0	13
計		4	13	8	10	35	8	3	12	12	35	9	15	7	7	38
生 活 科 学 部	食生活科学科	1	1	1	0	3	2	3	1	2	8	2	1	2	2	7
	生活環境学科	2	1	0	0	3	0	2	1	1	4	0	1	1	2	4
	生活文化学科	3	3	0	1	7	0	1	2	2	5	2	2	1	0	5
計		6	5	1	1	13	2	6	4	5	17	4	4	4	4	16
人間社会学部	人間社会学科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	/	/	/	3	
合 計		10	18	9	11	48	10	9	16	17	52	16	19	11	11	57

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めること。

2 医・歯学部、獣医学部（あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の場合には、第6年次まで作成すること。

6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数										C/A	D/B
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程					博士課程						
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	一般	社会人	留学生	その他	計(D)		
文学研究科	国文学専攻	10	3	20	9	8	0	0	0	8	3	0	0	0	3	0.40	0.33
	英文学専攻	6	—	12	—	4	0	0	0	4	—	—	—	—	—	0.33	—
	美術史学専攻	6	—	12	—	15	0	0	0	15	—	—	—	—	—	1.25	—
計		22	3	44	9	27	0	0	0	27	3	0	0	0	3	0.61	0.33
生活科学研究科	食物・栄養学専攻	6	2	12	6	7	0	0	0	7	2	0	0	0	2	0.58	0.33
	生活環境学専攻	6	—	12	—	3	0	0	0	3	—	—	—	—	—	0.25	—
計		12	2	24	6	10	0	0	0	10	2	0	0	0	2	0.42	0.33
合計		34	5	68	15	37	0	0	0	37	5	0	0	0	5	0.54	0.33

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載すること。
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載すること。
- 2 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含まないこと。
- 3 「C/A」および「D/B」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。

IV 教員組織

1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・専攻、 研究所等		専任教員数					助 手	設置基 準上必 要専任 教員数	専任教 員1人 当たり の在籍 学生数	兼任教員数				兼 任 教員数	備 考
		教 授	助教授	講 師	計	特任教員 (外数)				教 授	助教授	講 師	計		
文 学 部	国 文 学 科	9	2	1	12	0	1	7	45.2	0	1	0	1	24	副手2
	英 文 学 科	9	2	2	13	0	1	7		1	0	0	1	24	副手2
	美学美術史学科	5	4	0	9	0	2	7		0	0	0	0	23	副手2
計		23	8	3	34	0	4	21		1	1	0	2	71	
生 活 科 学 部	食生活科学科	14	2	0	16	0	1	14	43.5	1	0	0	1	15	副手15
	生活環境学科	7	3	0	10	0	0	7		4	0	0	4	18	副手8
	生活文化学科	6	3	1	10	0	0	7		4	0	1	5	10	副手3
計		27	8	1	36	0	1	28		9	0	1	10	43	
人間社会学部	人間社会学科	11	3	5	19	0	0	14	17.7	0	0	0	0	18	副手2
文 学 研 究 科	国 文 学 専 攻	0	0	0	0	0	0	/	/	9	1	0	10	0	
	英 文 学 専 攻	0	0	0	0	0	0	/	/	5	2	0	7	1	
	美術史学専攻	0	0	0	0	0	0	/	/	4	2	0	6	1	
計		0	0	0	0	0	0	/	/	18	5	0	23	2	
生活科学研究科	食物・栄養学専攻	0	0	0	0	0	0	/	/	8	1	0	9	1	
	生活環境学専攻	0	0	0	0	0	0	/	/	5	1	0	6	3	
計		0	0	0	0	0	0	/	/	13	2	0	15	4	

文芸資料研究所		0	1	0	1	0	0	/	/	6	1	0	7	0	
教職課程		1	1	0	2	0	0	/	/	5	3	0	8	12	副手1
図書館学課程		0	1	0	1	0	0	/	/	0	0	0	0	8	副手1 (教職兼務)
博物館学課程		0	0	0	0	0	0	/	/	1	1	0	2	13	
外国語教育研究センター		2	1	1	4	0	0	/	/	2	2	1	5	0	副手1
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数		/	/	/	/	/	/	32	/	/	/	/	/	/	
合計		64	23	10	97	0	5	/	/	55	15	2	72	171	

- [注] 1 教員については、学部・大学院研究科・研究所等、各所属組織ごとに記載すること。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載すること。
- 3 専任とは、常勤する者をいい、兼任とは、学外からの兼務者をいう。なお、国立大学所属教員については、兼担、兼任を共に併任ということもあるが、学外からの併任である者は「兼任教員数」欄に記入すること。また、併設短期大学からの兼務者も兼任教員に含めること。
- 4 客員教授、特任教授及びこれに準じる者については、専任者（教授会での議決権、研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」欄の「教授」、「助教授」、「講師」の該当する欄に含めて記入し、それ以外の特任者等については「特任教員（外数）」欄にその数を記入すること。
- 5 「助手」とは、主として教育研究に従事する者を指す。また、助手に準じる専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）やティーチングアシスタント、リサーチアシスタントがいる場合は、「備考」欄にそのおのこの名称と人数を記入すること。
- 6 大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら兼担によって行われている場合は、「兼任教員」欄に該当する教員の数を記入し、「専任教員1人当たりの在籍学生数」の算出は、その兼任教員数によって行うこと。他学部・他研究科等からの兼担者は「兼任教員」欄に含めないこと。
- 7 大学院大学にあっては、設置する研究科・専攻について「設置基準上必要専任教員数」を記入すること。

※人間社会学部人間社会学科における「専任教員一人当たりの在籍学生数」については、完成年度を迎えていないため現在の在籍学生数を教員数で割った値となっている。

※大学設置基準 別表第1 備考3（収容定員がこの表に定める数を超える場合は、その超える収容定員におうじて400人につき教員3名（獣医学関係にあっては、収容定員600人につき教員6名）の割合により算出される数の教員を増加するものとする）

上記の設置基準に従い、文学部国文学科（収容定員510名の場合、400名まで6名+110名分の教員1名を追加）は設置基準上必要となる教員数は7名となる。以下各学科とも同様の計算をおこない、上記の結果となった。

2 専任教員個別表

【文学部】

(表20)

職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
教授	かげやま 影山 てるくに 輝國	男	56	1988.4.1	1994.4.1	国文学科	漢文学基礎講読	2			2	有	東京大学大学院人 文科学研究科中国 哲学専門課程博士 課程修了 文学修士
							中国文学哲学演習 D		2		2		
							中国文学哲学研究 B	2			2		
							△中国文学特殊演習 A (博・後)		} 2		} 2		
							△中国文学演習 A (博・前)						
							特殊演習			2	2		
							計	4		6			10
教授	くりはら 栗原 あつし 敦	男	58	1982.4.1	1990.4.1	国文学科	近代文学基礎講読	2			2	有	東京教育大学大学 院文学研究科に本 文学専攻修士課程 修了 文学修士
							近代現代文学史	2			2		
							△近代文学特殊研究 A (博・後)		} 2		} 2		
							△近代文学特殊研究 A (博・前)						
							近代文学基礎演習			2	2		
							近代現代文学演習 D			2	2		
							特殊演習			2	2		
							計	6		6			12
教授	こんどう 近藤 みゆき	女	45	2001.4.1	2003.4.1	国文学科	古典文学基礎講読	2			2	有	東京大学大学院人 文科学研究科国語 国文学専門課程博 士課程中退 文学修士
							中古文学基礎演習		2		2		
							上代中古文学演習 F			2	2		
							上代中古文学研究 D	2			2		
							特殊演習			2	2		
							△中古文学特殊研究 B (博・後)		} 2		} 2		
							△中古文学研究 B (博・前)						
							計	6		6			12
教授	さとう 佐藤 さとる 悟	男	50	1985.4.1	1997.4.1	国文学科	近世文学基礎演習			2	2	有	東京大学大学院人 文科学研究科博士 課程満期退学 文学修士
							国文学概論	2			2		
							中世近世文学演習 F			2	2		
							特殊演習			2	2		
							△近世文学特殊演習 B (博・後)		} 2		} 2		
							△近世文学演習 B (博・前)						
							計	2		8			10

教授	たなだ てるよし 棚田 輝嘉	男	49	1995.4.1	2000.4.1	国文学科	近代文学基礎講読 近代現代文学史 近代現代文学演習 E 特殊演習 近代文学基礎演習 日本の文学 E 日本の文学 F △近代文学特殊演習 B (博・後) △近代文学演習 B (博・前)	2 2 2 2 1 1 }	2 2 2 2 2 } 2		2 2 2 2 1 1 } 2	有	京都大学大学院文学研究科博士課程中退 文学修士
教授	まきの かずお 牧野 和夫	男	56	1987.4.1	1992.4.1	国文学科	古典文学基礎講読 中世近世文学研究 A 中世文学基礎講読 中世近世文学演習 D 特殊演習 △中世文学特殊研究 A (博・後) △中世文学研究 A (博・前)	2 2 2 2 } 2		2 2 2 2 2 } 2	有	慶應義塾大学大学院博士課程国文学専攻修了 文学修士	
教授	ゆあさ しげお 湯浅 茂雄	男	52	1998.4.1	1998.4.1	国文学科	国語学概論 国語学演習 C 特殊演習 総合講座 A △日本語学特殊研究 B (博・後) △日本語学研究 B (博・前)	2 1 } 2	2 2 } 2		2 2 2 1 } 2	有	上智大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程修了 文学修士
教授	よこい たかし 横井 孝	男	55	2000.4.1	2000.4.1	国文学科	国文学概論 上代中古文学史 上代中古文学演習 E 特殊演習 △中古文学特殊演習 A (博・後) △中古文学演習 A (博・前)	2 2 2 } 2	4 2 } 2		2 2 4 2 } 2	有	駒澤大学大学院人文科学研究科国文学専攻博士課程単位取得退学 文学修士
教授	わたなべ もりくに 渡邊 守邦	男	67	1989.4.1	1989.4.1	国文学科	中世近世文学史 中世近世文学研究 D 中世近世文学演習 E 古典文学基礎講読 △近世文学特殊研究 A (博・後) △近世文学研究 A (博・前) 特殊演習	2 2 2 } 2	2 2 } 2		2 2 2 2 } 2	有	東京教育大学大学院博士課程日本文学専攻満期退学 文学修士
							計	6	8		7		
							計	8	4		12		
							計	5	4		9		
							計	4	8		12		
							計	8	4		12		

教授	うえの さとお 植野 達郎	男	56	1987.4.1	1992.4.1	英文学科	アメリカ文学史 アメリカ文学特殊講義 B アメリカ文学演習 C セミナー △米文学研究 II	2 2 2	2 2 3	2 2 3 2	有	東京学芸大学大学院英語教育研究科 アメリカ文学専攻 修了 教育学修士
							計	6	5	11		
教授	おおげき けいこ 大関 啓子	女	54	1981.4.1	1995.4.1	英文学科	英語演習 I C 英語演習 III イギリス文学特殊講義 A イギリス文学演習 D セミナー △英文学研究 III	2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	有	学習院大学大学院 人文科学研究科イ ギリス分学専攻博 士後期課程単位取 得満期退学 文学修士
							計	4	8	12		
教授	きよた のぶこ 清田 信子	女	68	1973.4.1	1984.4.1	英文学科	情報処理演習 A 情報処理演習 B 情報基礎演習 A 情報基礎演習 B	 2 1 1	8 2 1 1	8 2 1 1	無	実践女子大学文家 政学部英文学科卒 業 文学士
							計		12	12		
教授	こしいし てつや 興石 哲哉	男	44	1994.4.1	2004.4.1	英文学科	英語演習 II A 英語演習 II B 英語学演習 B セミナー イングリッシュ・スタディズ 英語学	 0.4 2	2 2 2 2	2 2 2 0.4 2	無	東京外国語大学大 学院外国語学研究 科ゲルマン系言語 専攻修了 文学修士
							計	2.4	8	10.4		
教授	こやなぎ やすこ 小柳 康子	女	58	1997.4.1	1997.4.1	英文学科	本年度国内研修				(有)	津田塾大学大学院 文学研究科英文学 専攻博士課程単位 取得満期退学 文学修士
							計					
教授	さわい いきむ 澤井 勇	男	66			英文学科	イギリス文学演習 G 英語演習 II D △英文学研究演習 I	 2 2	2 2 2	2 2 2	有	法政大学大学院人 文科学研究科英文 学専攻博士課程修 了 文学修士
							計		6	6		

教授	なんば まさのり 難波 雅紀	男	45	1997.4.1	2003.4.1	英文学科	イングリッシュ・スタディズ	0.4			0.4	有	上智大学大学院文学研究科英米文学専攻博士前期課程修了 文学修士
							英語演習 I A		2	2			
							英語演習 I B		2		2		
							アメリカ文学演習 D		2		2		
							セミナー		2		2		
							△米文学研究演習 I		2		2		
							計	0.4	10		10.4		
教授	ひあさ かずえ 日浅 和枝	女	66	1987.4.1	1995.4.1	英文学科	イングリッシュ・スタディズ	0.4			0.4	無	明治学院大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程修了 文学修士
							演劇概論	2			2		
							イギリス文学特殊講義 B	2			2		
							イギリス文学演習 C		2		2		
							セミナー		2		2		
							計	4.4	4		8.4		
教授	ひきなが ときお 久永 東輝夫	男	61	1980.4.1	1994.4.1	英文学科	イギリス文学演習 H		2		2	有	早稲田大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了 文学修士
							イギリス文学史	2			2		
							英語演習 I A		2		2		
							英語演習 I B		2		2		
							セミナー		2		2		
							△英文学研究 I	2			2		
							計	4	8		12		
教授	しまだ のりお 島田 紀夫	男	64	1981.4.1	1987.4.1	美学美術史学科	西洋近代美術 C	2			2	有	東北大学大学院文学研究科修士課程美術史学専攻修了 文学修士
							西洋美術史演習 B		2		2		
							卒業論文ゼミ		2		2		
							△西洋美術史演習 B		2		2		
							△西洋美術史特論 B	2			2		
							計	4	6		10		
教授	たなか ひでき 田中 英機	男	62	2003.4.1	2003.4.1	美学美術史学科	日本芸能史入門 A	1			1	有	国学院大学文学部日本文学科卒業 文学士
							日本芸能史入門 B	1			1		
							民俗芸能研究 A	2			2		
							民俗芸能演習		2		2		
							卒業論文ゼミ		2		2		
							文化史	2			2		
							△日本民俗芸能史演習		2		2		
							△日本民俗芸能史特論 A	2			2		
							計	8	6		14		

教授	なかまち けいこ 仲町(相武)啓子	女	53	1985.4.1	1994.4.1	美学美術史 学科	日本美術史入門A 日本美術史入門B 日本近世美術A △日本美術史演習A 古美術研究 卒業論文ゼミ 日本美術史演習B △日本美術史特論A 計	1 1 2 2 2 2 2 2			1 1 2 2 2 2 2	有	東京大学大学院博 人文科学研究科士 課程単位取得退学 文学修士
教授	みやざき のりこ 宮崎 法子	女	52	1995.4.1	1995.4.1	美学美術史 学科	中国美術史演習 中国絵画A 卒業論文ゼミ △東洋美術史演習A △東洋美術史特論A 計	2 2 2 2	2		2 2 2 2	有	東京大学大学院人 文科学研究科博士 課程中退 文学修士
教授	むかき あきら 武笠 朗	男	46	1997.4.1	2002.4.1	美学美術史 学科	本年度国内研修 計					(有)	東京藝術大学大学 院美術研究科博士 課程日本東洋美術 史専攻修了 芸術学修士
助教授	いけだ みえこ 池田(飯泉)三枝子	女	42	1999.4.1	2002.4.1	国文学科	本年度国外研修 計					(有)	慶応義塾大学大学 院文学研究科博士 課程国文学専攻単 位取得退学 文学修士
助教授	やまうち ひろゆき 山内 博之	男	43	2000.4.1	2000.4.1	国文学科	日本語教育実習 日本文化事情A 日本文化事情B 日本語教育実習 日本語教育学演習B 特殊演習 △日本語教育研究A 計	1 1 2 2 2 2		2	2 1 1 2 2 2	有	大阪大学大学院経 済学研究科博士後 期課程退学 文学修士

助教授	しま たかゆき 島 高行	男	43	1998.4.1	2003.4.1	英文学科	△英文学研究演習Ⅱ		2		2	有	東京都立大学大学院博士課程中退 文学修士
							英語演習ⅠA		2		2		
							英語演習ⅠB		2		2		
							英米の文化と社会	2			2		
							イギリス文学演習F		2		2		
							イングリッシュ・スタディズ	0.4			0.4		
							セミナー		2		2		
							計	2.4	10		12.4		
助教授	むらかみ 村上 まどか	女	41	2005.4.1	2005.4.1	英文学科	英語演習ⅠA		2		2	有	東京外国語大学 大学院外国語学 部研究科ゲルマン 系言語専攻単位 取得退学 文学修士
							英語演習ⅠB		2		2		
							文法論	2			2		
							英語学演習A		2		2		
							英語音声学	2			2		
							△英語学研究演習Ⅰ		2		2		
							計	4	8		12		
助教授	かたぎり よりつぐ 片桐 頼継	男	48	1997.4.1	2000.4.1	美学美術史 学科	西洋近代美術史入門A	1			1	有	学習院大学人文科学 研究科哲学（美 学美術史）専攻 博士後期課程単位 取得退学 文学修士
							西洋近代美術史入門B	1			1		
							△西洋美術史演習A		4		4		
							西洋近代美術A	2			2		
							△西洋美術史特論A	2			2		
							卒論ゼミ		2		2		
							計	6	6		12		
助教授	こじま かおる 児島(近藤)薫	女	45	2000.4.1	2000.4.1	美学美術史 学科	日本近代美術史入門	1			1	有	東京大学大学院博士 課程日本美術史 学専攻中途退学 人文学修士
							博物館学入門	1			1		
							日本近代美術A	2			2		
							△日本美術史演習B		2		2		
							卒業論文ゼミ		2		2		
							日本美術史演習A		2		2		
							△日本美術史特論B	2			2		
							計	6	6		12		
助教授	しいはら のぶひろ 椎原 伸博	男	44	2002.4.1	2002.4.1	美学美術史 学科	美学入門A	1			1	有	東京芸術大学大学院 美術研究科芸術 学美学専攻修士課 程修了 修士（芸術学）
							美学入門B	1			1		
							美学研究B	2			2		
							美学演習		2		2		
							卒業論文ゼミ		2		2		
							△芸術学演習		2		2		
							△芸術学特論	2			2		
							計	6	6		12		

助教授	ふりはた よしひこ 降旗 芳彦	男	49	1991.4.1	1994.4.1	美学美術史 学科	哲学入門	4			4	無	早稲田大学大学院 文学研究科哲学専 攻博士後期課程満 期退学 文学修士
							倫理学入門	2			2		
							西洋思想史	2			2		
							思想史研究	2			2		
							情報基礎演習A		1		1		
							情報基礎演習B		1		1		
							計	10	2		12		
専任 講師	ふくしま たけのぶ 福島 健伸	男	31	2005.4.1	2005.4.1	国文学科	国語学概論	4			4	無	筑波大学大学院 博士課程、文芸 ・言語研究科 言語学専攻 満期退学 博士（言語学）
							国語学史基礎演習		2		2		
							国語史	2			2		
							国語学演習D		2		2		
							特殊演習		2		2		
							計	6	6		12		
専任 講師	おおわだ としゆき 大和田 俊之		34	2003.4.1	2003.4.1	英文学科	英語演習ⅡA		2		2	無	慶応義塾大学大学 院文学研究科英米 文学専攻後期博士 課程単位取得退学 博士（文学）
							英語演習ⅡB		2		2		
							英語演習ⅠC		2		2		
							イングリッシュ・スタディズ	0.4			0.4		
							アメリカ文学演習H		1		1		
							アメリカ文学演習B		2		2		
							表象文化論	2			2		
							セミナー		2		2		
							計	2.4	11		13.4		
専任 講師	ささき まり 佐々木 真理 (前期育児休業)	女	34	2004.4.1	2004.4.1	英文学科	女性文学	1			1	無	東京大学大学院人 文社会系研究科博 士課程中途退学 文学修士
							英語演習Ⅲ		2		2		
							セミナー		1		1		
							アメリカ文学演習E		1		1		
							アメリカ文学演習H		1		1		
							計	1	5		6		

【生活科学部】

職名	氏名 ふりがな	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
教授	青木 洋祐 あおき ようすけ	男	65	1996.4.1	1996.4.1	食生活科 学科	臨床医学概論	2			1	無	東京大学医学部医 学科卒業 医学博士
							臨床栄養学実習 B			0.5	0.5		
							臨床栄養学実習 A			3	3		
							分子生物学	1			1		
							栄養学各論 B	1			1		
							臨床栄養学総論 A	2			2		
							臨床栄養学総論 B	2			2		
							栄養学総論	3			3		
							基礎栄養学実習			1	1		
							計	11		4.5	13.5		
教授	石井 明 いしい あきら	男	67	2005.4.1	2005.4.1	食生活科 学科	健康生活論	1			1	有	東京大学大学院 第3基医学退学 医学博士
							臨床栄養学各論 A	2			2		
							基礎栄養学実習			1	1		
							公衆栄養学実習 B			0.5	0.5		
							公衆衛生学 A	2			2		
							公衆衛生学 B	2			2		
							病原微生物と人体	2			2		
							△公衆衛生学特論	1			1		
							老年学	1			1		
							衛生学	1			1		
							公衆衛生学	1			1		
							△特別研究	4			4		
							計	17		1.5	18.5		
							教授	大久保 洋子 おおくぼ ひろこ	女	61	2005.4.1		
食生活教育論	2			2									
調理学実習 A			3	3									
計	2		12	14									

教授	おぐら みつぐ 小倉 貢	男	70	1962.4.1	1787.4.1	食生活科学科	生涯スポーツ実習 健康運動実習A 健康運動実習B 基礎スポーツ実習A 基礎スポーツ実習B 健康運動論演習			4 3 3 2 2	4 3 3 2 2	無	日本体育大学体育学部体育学科卒業
							計	0.5		14	14.5		
教授	こばやし みきひこ 小林 幹彦	男	58	2005.4.1	2005.4.1	食生活科学科	食品学各論実験 食品学総論A 食品学総論B △食品学実験 △食品学特論A 食品学	1 1 1 2		3 3	3 1 1 2	有	東北大学大学院農学研究科 博士課程退学 農学博士
							計	5		6	11		
教授	しみや ようこ 四宮 陽子	女	55	1990.4.1	2003.4.1	食生活科学科	調理学実験A 調理学実験B 調理学A 調理学B 調理学 食品物性論 △調理学特論A	1 1 2 2 1		5 1.5	4.5 1.5 1 1 2 2 1	有	東京大学大学院農学系研究科（博士課程） 農芸化学専門課程修了 農学博士
							計	7		6	13		
教授	たじま まこと 田島 眞	男	61	1991.4.1	1991.4.1	食生活科学科	食品機能論 食品加工学 フードマネージメント論 基礎演習 情報処理演習C 食品学各論A 食品加工学実習 △食品学特論C	1 1 2 1 1 1	1 1		1 1 1 1 3 1	有	東京大学大学院農学系研究科農芸化学専攻 博士課程修了 農学博士
							計	6	2	3	11		
教授	ただ ひろし 多田 裕	男	67	2005.4.1	2005.4.1	食生活科学科	栄養学各論A 栄養学 基礎栄養学実習 母性栄養学 成長期栄養学 栄養学各論実験 育児学 △栄養学特論B 成人・高齢者栄養学 △特別研究	1 1 2 2 2 2 1 2 4		1 1 3	1 1 2 2 3 2 1 2 4	有	東京大学医学系大学院 博士課程 第二臨床課程退学 医学博士
							計	15		4	19		

教授	とよだ まさたけ 豊田 正武	男	63	2002.4.1	2002.4.1	食生活科学科	基礎化学	4			4	有	東京大学大学院農学系研究科（博士課程）農芸化学専攻修了 農学博士
							有機化学A	1			1		
							有機化学B	1			1		
							食品学	1			1		
							理化学実験			4	4		
							化学の世界	1			1		
							計	8		4	12		
教授	なかがわ やすえ 中川 靖枝	女	57	1982.4.1	1993.4.1	食生活科学科	栄養指導論実習			3	3	有	実践女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻修士課程修了 医学博士
							校外給食実習			0.5	0.5		
							公衆栄養学実習A	2		3	3		
							栄養教育論A				2		
							給食経営管理実習B			8	8		
							△特別研究	4			4		
							計	6		14.5	20.5		
教授	にしじま もとひろ 西島 基弘	男	64	2001.4.1	2001.4.1	食生活科学科	食品衛生学A	1			1	有	東京薬科大学薬学科卒業 薬学博士
							食品衛生学B	1			1		
							健康環境学	2			2		
							食品衛生学実験			6	6		
							食品衛生学	2			2		
							△食品衛生学特論	1			1		
							△特別研究	2			2		
							計	9		6	15		
教授	はるやま ふみこ 春山 文子	女	65	1962.4.1	1984.4.1	食生活科学科	健康運動実習A			3	3	無	日本大学文理学部教育学科（体育専攻）卒業
							健康運動実習B			3	3		
							健康運動論演習	2	0.5		0.5		
							基礎技能C				2		
							ヘルスプロモーション実践実習Ⅰ			2	2		
							ヘルスプロモーション実践実習Ⅱ			2	2		
							計	2	0.5	10	12.5		
教授	ほそかわ ゆう 細川 優	男	57	2001.4.1	2001.4.1	食生活科学科	公衆栄養学A	2			2	有	大阪薬科大学製薬学科卒業 医学博士
							公衆栄養学B	2			2		
							公衆栄養学	1			1		
							生化学A	2			2		
							生化学B	2			2		
							生化学実験			3	3		
							栄養生化学実験			1.5	1.5		
							生化学総論	1			1		
							生化学各論	1			1		
							△栄養学特論C	1			1		
							△特別研究	2			2		
							計	14		4.5	18.5		

教授	ももせ ひろお 百瀬 洋夫	男	69	1985.4.1	1985.4.1	食生活科学科	バイオテクノロジー概論 微生物学 食品加工学 食文化論 食品加工学A 食品加工学B 食品加工学実習	2 2 1 3 1 1			2 2 1 3 1 1	無	東北大学農学部農芸化学科卒業 農学博士
							計	10		1.5	10.5		
教授	かきもと ゆきこ 垣本 由紀子	女	68	2000.4.1	2000.4.1	生活環境学科	生活人間工学 生活人間工学演習 人間工学 実験心理学 衣環境学実験 生活環境学演習 感性工学 生活気候学 生活環境学セミナー △人間生態学特論B	1 1 2 1 1 1 0.5 1	1	3	1 1 2 1 1 0.5 2 1	有	早稲田大学第一文学部哲学科心理学専修卒業 医学博士
							計	6.5	4	3	13.5		
教授	かじま やすこ 鍛島 康子	女	67	1969.4.1	1984.4.1	生活環境学科	ファッション文化史 ファッション文化論 ファッション文化論演習 生活環境学演習 ファッション文化史演習 生活環境学セミナー	2 1 1 1 1	1		2 1 1 1 2	無	お茶の水女子大学大学院家政学研究科被服学専攻修了 家政学修士
							計	3	5		8		
教授	かまた よしのぶ 鎌田 佳伸	男	65	1998.4.1	1998.4.1	生活環境学科	アパレル生産論 プログラミング演習 テキスタイル材料学 生活環境学演習 生活環境学セミナー テキスタイル材料学実験 △生活材料科学特論A △生活材料科学実験A	1 1 1 1 1	2 1 2	6	1 2 6 1.5	有	東京農工大学繊維学部繊維工学科卒業 工学博士
							計	3	5	7.5	15.5		
教授	こみやま じろう 小見山 二郎	男	69	1997.4.1	1997.4.1	生活環境学科	テキスタイル管理学 生活環境学演習 生活環境保全論 染色加工学 生活環境学セミナー 生活環境科学 テキスタイル管理学実験	1 1 1 1 1	1 2	6	1 1 1 2 1 6	無	京都大学大学院工学研究科修士課程修了 工学博士
							計	4	3	6	13		

教授	じょうじま えいいちろう 城島 栄一郎	男	56	1979.4.1	1993.4.1	生活環境 学科	統計学実験計画法 生活環境学演習 繊維高分子材料学 生活環境学セミナー 繊維高分子材料学実験 △生活情報科学	2 1 1 1	1 2	6	2 1 2 6 1	有	東京工業大学理工 学研究科繊維工学 専攻博士課程修了 工学博士
							計	4	3	6	13		
教授	たかぶ ひろこ 高部 啓子	女	62	2000.4.1	2000.4.1	生活環境 学科	衣生活論 人体形態論 衣環境デザイン論 アパレル設計論 衣環境デザイン実習A 生活環境学演習 生活環境学セミナー 人体形態論演習 △衣環境設計学特論A △衣環境設計学演習A △特別研究	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	1 2 2	3	1 1 3 1 2 2 1 1	有	大妻女子大学大学 院家政学研究科博 士後期課程被服環 境学専攻修了 学術博士
							計	7	6	3	14		
教授	やまさき かずひこ 山崎 和彦	男	51	1991.4.1	1998.4.1	生活環境 学科	生活環境学演習 生活環境学セミナー 生活気候学 衣環境学 住環境学 生理学 生理人類学 環境科学 衣環境学実験 △人間生態学特論A △人間生態学実験A △特別研究	0.5 1 1 1 1 1 1 1 1 2	1 2	3 1.5	1 2 0.5 1 1 1 1 3 1 1.5 2	有	九州芸術工科大学 大学院芸術工学研 究科生活環境専攻 修士課程修了 医学博士
							計	8.5	3	4.5	16		
教授	あしざわ ひろお 芦沢 宏生	男	65	1976.4.1	1992.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 生活文化論演習 環境文化論 消費生活論 日本国憲法 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 総合演習	2 1 2 1 1	1 2 2		1 2 2 1 2 1 1 2	無	中央大学大学院博 士課程法学研究科 政治学専攻満期退 学 法学修士
							計	7	5		12		

教授	おとくに 乙訓 稔	男	61	1935.4.1	1989.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 教育史 生活文化論演習 生涯教育論 生涯教育論演習 総合演習	2 2 2 2	1 2 2 2		1 2 2 2	無	上智大学大学院文 学研究科教育学専 攻博士課程単位取 得満期退学 博士（文学）
							計	4	7		11		
教授	さわのぼり 沢登 徹	男	67	2003.4.1	2003.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 健康科学論 生活文化論演習 健康科学論演習 栄養病理学 生理学 公衆衛生論	2 2 2 1 2	1 2 2		1 2 2 1 2	無	東京医科歯科大学 医学部大学院医学 研究科博士課程修 了 医学博士
							計	7	5		12		
教授	すが 須賀 恭子	女	64	1972.4.1	1985.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 生涯発達心理学演習 生活文化論演習 カウンセリング概論 発達臨床心理学 生涯発達心理学	1 2 2	1 2 2		1 2 2	無	お茶の水女子大学 大学院人文科学研 究科心理学専攻修 士課程修了 文学修士
							計	5	5		10		
教授	とみた 富田 洋三	男	60	1976.4.1	1988.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 経済学 生活文化論演習 生活経営論 生活経済論 生活経済論演習 日本経済論A 日本経済論B	2 1 2 1 1	1 2 2		1 2 2 1 1	無	青山学院大学大学 院博士課程経済学 研究科単位取得退 学 経済学修士
							計	7	5		12		
教授	まつだ 松田 義幸	男	65	1995.4.1	1995.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習 生活文化史 生活文化論演習 生活文化史演習 生活文化学概論 余暇生活論 映像文化論A 映像文化論B	2 1 2 1 1	1 2 2		1 2 2 1 1	無	東京教育大学教育 学部教育学科卒業
							計	7	5		12		

助教授	かずの 数野 千恵子	女	49	1998.4.1	1998.4.1	食生活科学科	臨床栄養学各論 B	2		3	2	有	実践女子大学大学院家政学研究科修士課程修了 農学博士
							調理学及び実習 基礎調理 調理学実験 フードコーディネート論 △調理科学特論 B	1		3	3		
							計	4		9	13		
助教授	ごとう 後藤 英子	女	56	1980.4.1	1984.4.1	食生活科学科	食品分析	1			1	無	東京農業大学大学院納学研究科博士課程修了 農学博士
							食品学各論 B 食品機能論 食品学総論実験 食品分析実験	1		3	3		
							計	3		6	9		
助教授	たかた 高田 典夫	男	54	2003.4.1	2003.4.1	生活環境学科	生活環境学演習		1		1	無	東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了 建築学修士
							インテリアデザイン論 インテリアデザイン論演習 住環境デザイン論演習 基礎デザイン・演習 生活環境学セミナー 住環境デザイン論	1		1	2		
							計	2	10		12		
助教授	たちばな 橋 弘志	男	40	2002.4.1	2002.4.1	生活環境学科	生活環境学演習		1		1	有	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中途退学 博士（工学）
							生活環境学セミナー 住居学 生活空間論 生活空間論演習 生活空間設計製図 建築・インテリア法規 △特別研究	2		2	1		
							計	9	7		16		
助教授	まき 槇 究	男	41	1995.4.1	1998.4.1	生活環境学科	生活環境学演習		1		1	無	東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻博士課程修了 工学博士
							生活環境学セミナー 住環境デザイン論 色彩学 色彩設計演習 環境心理学 グラフィック演習	2		2	1		
							計	4	7		11		

助教授	あきやま ひろゆき 秋山 博介	男	45	1996.4.1	1996.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習		1		1	無	立正大学大学院文 学研究科社会学専 攻博士課程単位取 得満期退学 文学修士	
							生活福祉論	1		1				
							生活文化論演習		2		2			
							子ども・家庭福祉論	2			2			
							生活福祉論演習		2		2			
							家族援助論	1			1			
							総合演習		2		2			
							計	4	7		11			
助教授	いぬつか じゅんいちろう 犬塚 潤一郎	男	46	2003.4.1	2003.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習		1		1	無	多摩大学大学院博 士課程修了 経営情報学博士	
							映像制作技術	1		1				
							生活文化論演習		2		2			
							生活装備論	2			2			
							生活装備論演習		2		2			
							比較生活文化論	2			2			
							ネットワーク社会論	1			1			
							ネットワーク技術論	2			2			
							メディアアート論	2			2			
							コミュニケーション論	1			1			
							計	11	5		16			
助教授	まつだ じゅんこ 松田 純子	女	42	2004.4.1	2004.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習			1		1	無	ミルズ大学大学院 修士課程幼児教育 学専攻修了 文学修士
							保育原理	2			2			
							生活文化論演習		2		2			
							基礎技能D	2			2			
							原書講読A	2			2			
							計	6	3		9			
専任 講師	みずの いずみ 水野 いずみ	女	33	2004.4.1	2004.4.1	生活文化 学科	生活文化論基礎演習			1		1	無	東京大学大学院人 文社会系研究科社 会文化研究専攻博 士課程単位取得退 学 修士（社会心理学）
							心理学基礎実験				2			
							生活文化論演習		2		2			
							家族社会心理学	2			2			
							教育心理学	1			1			
							社会心理学	1			1			
							心理測定研究法	2			2			
							計	6	3	2	11			

【人間社会学部】

職名	氏名 ふりがな	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
教授	飯田 良明 いいた よしあき	男	58	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	社会学	2			2	無	中央大学大学院文 学研究科（博士課 程）社会学専攻修 了 文学修士
							社会学概論（前期）	1			1		
							社会学概論（後期）	1			1		
							環境社会学	1			1		
							社会心理学	2			2		
計	7			7									
教授	石川 祥一 いしかわ しょういち	男	61	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	英語コミュニケーションⅠA（前期）		3		3	無	青山学院大学大学 院文学研究科修士 課程修了 文学修士
							英語コミュニケーションⅠB（後期）		3		3		
							英語コミュニケーションⅡA（前期）		3		3		
							英語コミュニケーションⅡB（後期）		3		3		
							英語科教育法	1			1		
計	1	12		13									
教授	鹿嶋 敬 かしま たかし	男	60	2005.4.1	2005.4.1	人間社会 学科	ライフスタイル論	1			1	無	千葉大学文理学部 ドイツ文学科卒業
							ライフスタイル論演習		1		1		
							演習ⅡA（前期）		1		1		
							演習ⅡB（後期）		1		1		
							ジェンダー論	1			1		
計	1	3		5									
教授	数野 昌三 かずの しょうぞう	男	51	2005.4.1	2005.4.1	人間社会 学科	家族関係論	1			1	無	東洋大学大学院 法学研究科 博士後期課程 単位取得満期退学 法学博士
							民法概論（前期）	1			1		
							民法概論（後期）	1			1		
							法律学（前期）	1			1		
							法律学（後期）	1			1		
							演習ⅡA（前期）		1		1		
							演習ⅡB（後期）		1		1		
計	5	2		7									
教授	窪 龍子 くぼ りゅうこ	女	61	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	心理学概論（前期）	1			1	無	日本女子大学大学 院家政学研究科児 童学専攻（修士課 程）修了 家政学修士
							心理学概論（後期）	1			1		
							人間社会学総論（前期）	0.5			0.5		
							人間社会学総論（後期）	0.5			0.5		
							演習ⅠA		1		1		
							演習ⅠB		1		1		
							演習ⅡA		1		1		
							演習ⅡB		1		1		
計	1.5	4		7									

教授	けんち くにひで 釧地 邦秀	男	61	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	経営学概論（前期）	1			1	無	明治大学大学院経 営学研究科博士前 期課程修了 博士（経営学）
							経営学概論（後期）	1			1		
							演習ⅠA（前期）		1		1		
							演習ⅠB（後期）		1		1		
							演習ⅡA（前期）		1		1		
							演習ⅡB（後期）		1		1		
							計	3	4		7		
教授	たかぎ ひろこ 高木 裕子	女	51	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	演習ⅠA（前期）		1		1	無	東北大学大学院情 報化学研究科人間 社会情報化学専攻 修了 教育学修士
							演習ⅠB（後期）		1		1		
							日本語コミュニケーションA（前期）		4		4		
							日本語コミュニケーションB（後期）		4		4		
							日本語教授法Ⅰ	2			2		
							言語コミュニケーション論（前期）	1			1		
							言語コミュニケーション論（後期）	1			1		
							計	4	10		14		
教授	ながお のぶお 長尾 演雄	男	68	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	人間社会学総論（前期）	0.5			0.5	無	大阪市立大学大学 院文学研究科（博 士課程）社会学専 攻修了 文学修士
							人間社会学総論（後期）	0.5			0.5		
							計	1			1		
教授	まつうら つねお 松浦 常夫	男	51	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	演習ⅠA（前期）		1		1	無	東京大学教育学部 心理学科卒業博士 （人間科学）
							演習ⅠB（後期）		1		1		
							行動科学（前期）	1			1		
							行動科学（後期）	1			1		
							職業・安全心理学	1			1		
							計	3	2		5		
教授	もたい しょうきち 轟 昭吉	男	60	2005.4.1	2005.4.1	人間社会 学科	演習ⅡA（前期）		0.5		0.5	無	明治大学大学院 修士課程修了 文学修士
							演習ⅡB（後期）		0.5		0.5		
							計		1		1		
教授	やべ じょうたろう 矢部 丈太郎	男	66	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	消費生活学	1			1	無	関東学院大学専攻 科（経営学）修了 経営学修士
							演習ⅠA（前期）		1		1		
							演習ⅠB（後期）		1		1		
							演習ⅡA（前期）		1		1		
							演習ⅡB（後期）		1		1		
							消費者保護論	1			1		
							計	2	4		6		

助教授	こやま ひろし 小山 裕司	男	37	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	情報コミュニケーションA (前期)		4		4	無	東京都立科学技術 大学大学院工学研 究科博士課程工学 システム専攻修了 修士 (工学)
							情報コミュニケーションB (後期)		2		2		
							情報基礎演習A		1		1		
							情報基礎演習B		1		1		
							計		8		8		
助教授	ひろい たづこ 広井 多鶴子	女	46	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	人間教育学概論 (前期)	1		1	無	東京大学大学院教 育学研究科 (博士 課程) 教育行政学 専攻修了 教育学修士	
							人間教育学概論 (後期)	1		1			
							人間関係論 (前期)	1		1			
							人間関係論 (後期)	1		1			
							道德教育の研究	2		2			
							演習 I A (前期)		1	1			
演習 I B (後期)		1	1										
							計	6	2	8			
助教授	らん めい 蘭 明	女	49	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	中国語コミュニケーション I A (前期)		2		2	無	東京大学大学院人 文社会系研究科 (博士課程) 日本 文化専攻修了 文学博士
							中国語コミュニケーション I B (後期)		2		2		
							中国語コミュニケーション II A (前期)		4		4		
							中国語コミュニケーション II B (後期)		4		4		
							原書講読比較文化論演習 A		2		2		
							計		14		14		
専任 講師	あさみ あつこ 阿佐美 敦子	女	39	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	英語コミュニケーション I A (前期)		3		3	無	実践女子大学大学 院文学研究科英文 学専攻修士課程修 了 文学修士
							英語コミュニケーション I B (後期)		3		3		
							英語コミュニケーション II A (前期)		4		4		
							英語コミュニケーション II B (後期)		4		4		
							計		14		14		
専任 講師	あわづ しゅんじ 粟津 俊二	男	32	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	心理学概論	4		4	無	京都大学大学院文 学研究科行動文化 学系心理学専修 (博士後期課程) 修了 博士 (文学)	
							心理測定研究法	2		2			
							演習 I A		1				1
							演習 I B		1				1
							計	6	2	8			
専任 講師	いしかわ けいこ 石川 恵子	女	39	2005.4.1	2005.4.1	人間社会 学科	簿記 I	2		2	無	明治大学大学院 経営学研究科 博士後期課程 満期退学 経営学修士	
							簿記 II	1		1			
							会計学総論	1		1			
							演習 II A (前期)		1				1
							演習 II B (後期)		1				1
							計	4	2	6			

専任講師	たかはし いちろう 高橋 意智郎	男	36	2005.4.1	2005.4.1	人間社会 学科	企業論（前期）	1			1	無	早稲田大学大学院 商学研究科 博士後期課程 単位取得満期退学
							企業論（後期）	1			1		
							演習ⅡA（前期）		1		1		
							演習ⅡB（後期）		1		1		
							計	2	2		4		
専任講師	たけうち あきのぶ 竹内 光悦	男	31	2004.4.1	2004.4.1	人間社会 学科	演習ⅠA		1		1	無	鹿児島大学大学院 理工学研究科（博 士課程）生命物質 システム専攻修了 博士（理学）
							演習ⅠB		1		1		
							統計学	2			2		
							社会調査法	2			2		
							計	4	2		6		

【文芸資料研究所】

職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目				大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号	
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
助教授	うえの 上野(今野)英子	女	49	1984.4.1	2003.4.1		文学概論A	1			1	無	実践女子大学大学 院文学研究科国文 学専攻博士課程単 位取得退学 文学修士
							文学概論B	1			1		
							計	2			2		

【教職課程】

職名	氏名 ふりがな	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
教授	宇佐見 忠雄 うさみ ただお	男	59	2001.4.1	1991.4.1		教師論	2			2	無	東京大学大学院教育研究科学学校教育学専門課程修士課程修了 教育学修士
							教育理論	5			5		
							総合演習		2		2		
							教育実習 A/B			3	3		
							計	7	2	3	12		
助教授	柏崎 秀子 かしわざき ひでこ	女	44	2004.4.1	2004.4.1		生徒指導論	2			2	無	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程人間発達学専攻単位取得退学 文学修士
							教育相談	1			1		
							教育方法	4			4		
							発達・学習理論	4			4		
							計	11			11		

【図書館学課程】

職名	氏名 ふりがな	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
助教授	塚原 博 つかはら ひろし	男	57	2003.4.1	1991.4.1		図書館概論	1			1	無	ワシントン大学大学院図書館情報学専攻修士課程修了 図書館学修士
							図書館資料論	1			1		
							情報サービス概説	1			1		
							資料情報組織法 I	2			2		
							児童サービス論	1			1		
							図書館特論	1			1		
							学校経営と学校図書館	1			1		
							総合演習		2		2		
					計	8	2		10				

【外国語教育研究センター】

職名	氏名 ふりがな	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目					大学院に おける研 究指導担 当の状況 (有無)	最終学歴及び 学位称号
							毎 週 授 業 時 数						
							科 目 名	講義	演習	実験 実習 実技	計		
教授	ジョーンズ, アンドリュー	男	62	1984.4.1	1993.4.1		英語基礎演習		6		6	無	テンプル大学大学 院教育学研究科博 士課程修了 博士(教育学)
							英語と文化A	2			2		
							英語科教育実践研究(1)	1			1		
							英語科教育実践研究(2)	1			1		
							計	4	6		10		
教授	とがさき ひろやす 戸賀崎 博保	男	64	1986.4.1	1987.4.1		フランス語B	2			2	無	立教大学文学部フ ランス文学科修士 課程修了 文学修士
							フランス文学	2			2		
							フランス語と文化A	2			2		
							フランス語演習A		2		2		
							フランス語演習B		2		2		
計	6	4		10									
助教授	ブラック,ヨーガン	男	45	2002.4.1	2005.4.1		英語基礎演習		10		10	無	テンプル大学大学 院教育学研究科 TESOL専攻修了 教育学修士
							スピーキング・スキルズ		2		2		
							英語と文化B	2			2		
計	2	12		14									
専任 講師	ワムスリー, クリスタファ	男	43	2004.4.1	2004.4.1		スピーキング・スキルズ		1		2	無	Tesside 大学 英語 文化研究科哲学専 攻修士課程修了 哲学修士
							英語基礎演習		6		12		
							英語と文化A	2			2		
計	2	7		16									

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成すること。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載すること。
- 2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付すこと。
- 3 授業科目欄については、5月1日を含む学期における授業時間割に基づいて、作成すること。
- 4 毎週授業時間数は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入すること(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。
- 5 1 授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出すること。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職 位	71歳以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
文 学 部	教 授	—	3	3	5	5	3	3	1	0	0	23	
		—	13.0%	13.0%	21.7%	21.7%	13.0%	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%	100%	
	助 教 授	—	0	0	0	0	1	5	1	1	0	0	7
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
	計	—	(3)	(3)	(5)	(5)	(4)	(8)	(2)	(3)	(3)		(33)
		—	9.1%	9.1%	15.2%	15.2%	12.1%	24.2%	6.1%	9.1%	0.0%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4	
	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	100%	
合 計	—	3	3	5	5	4	9	2	3	3	3	37	
	—	8.1%	8.1%	13.5%	13.5%	10.8%	24.3%	5.4%	8.1%	8.1%	8.1%	100%	
生活科学部	教 授	—	7	9	3	3	0	0	0	0	0	22	
		—	31.8%	40.9%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助 教 授	—	0	0	1	1	2	3	1	1	0	0	8
		—	0%	0%	13%	13%	25%	38%	13%	0%	0%	0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		—	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
	計	—	(7)	(9)	(4)	(4)	(2)	(3)	(1)	(1)	(1)		(31)
		—	22.6%	29.0%	12.9%	12.9%	6.5%	9.7%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	—	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
合 計	—	7	9	4	4	2	4	1	1	1	0	32	
	—	21.9%	28.1%	12.5%	12.5%	6.3%	12.5%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%	100%	

人間社会学部	教 授	—	2	3	3	2	1	0	0	0	0	11
		—	18.2%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助 授 授	—	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	100%
	計	—	(2)	(3)	(3)	(2)	(3)		(3)	(3)		(19)
		—	10.5%	15.8%	15.8%	10.5%	15.8%	0.0%	15.8%	15.8%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
合 計		—	2	3	3	2	3	0	3	3	0	19
		—	10.5%	15.8%	15.8%	10.5%	15.8%	0.0%	15.8%	15.8%	0.0%	100%
文芸資料研究所	教 授	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	助 授 授	—	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	計	—	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
合 計		—	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

外国語教育 研究センター	教 授	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		—	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助 授	—	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	計	—	(0)	(2)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(4)
		—	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
合 計	—	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	
	—	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
教養教育担当者	教 授	—	1	3	1	0	0	0	0	0	0	5
		—	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助 授	—	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	計	—	(1)	(3)	(1)		(1)					(6)
		—	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助 手	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
合 計	—	1	3	1	0	1	0	0	0	0	6	
	—	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
定年	70 才											

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成すること。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成すること。

2 ここにいう「助手」の中には、専任教務補助員(いわゆる副手、実験補助員等)等は含まないこと。

3 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入すること。

※文学部から助教授1名を教養教育担当教員に移動

※生活科学部から教授5名を教養教育担当教員に移動

4 専任教員の担当授業時間

文学部（31人）（国内研修 教授 2人、国外研修 助教授 1人を除く。）

（表22）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高	7.0 授業時間	6.2 授業時間	6.7 授業時間	1 授業時間 90 分
最 低	3.0 授業時間	6.0 授業時間	3.0 授業時間	
平 均	5.6 授業時間	6.0 授業時間	5.2 授業時間	
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

※学部長・主任・各委員会委員長の一部については、責任コマ数を減ずる規則があるため、授業時間数が少ない場合があります。

生活科学部（36人）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高	10.3 授業時間	8.0 授業時間	5.5 授業時間	1 授業時間 90 分
最 低	4.0 授業時間	4.5 授業時間	5.5 授業時間	
平 均	6.9 授業時間	6.1 授業時間	5.5 授業時間	
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

人間社会学部（19人）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高	7.0 授業時間	7.0 授業時間	7.0 授業時間	1 授業時間 90 分
最 低	0.5 授業時間	4.0 授業時間	2.0 授業時間	
平 均	3.4 授業時間	5.0 授業時間	3.8 授業時間	
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

※人間社会学部は2004年度（平成16年度）開設のため、完成年度（2007年度（平成19年度））までは、授業該当学年の在校生がいないため予定の授業が開講されず授業時間が少ない教員がおります。

文芸資料研究所（1人）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高		1.0 授業時間		1 授業時間 90 分
最 低		1.0 授業時間		
平 均		1.0 授業時間		
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

※文芸資料研究所専任教員として、研究所業務遂行上持ちコマを1コマとしている。

教職課程（2人）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高	6.0 授業時間	5.5 授業時間		1 授業時間 90 分
最 低	6.0 授業時間	5.5 授業時間		
平 均	6.0 授業時間	5.5 授業時間		
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

図書館学課程（1人）

区分 \ 教員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高		5.0 授業時間		1 授業時間 90 分
最 低		5.0 授業時間		
平 均		5.0 授業時間		
責任授業時間数	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	

外国語教育研究センター（4人）

区分	教員	教授	助教授	講師	備考
最高		5.0 授業時間	7.0 授業時間	8.0 授業時間	1 授業時間 90 分
最低		5.0 授業時間	7.0 授業時間	8.0 授業時間	
平均		5.0 授業時間	7.0 授業時間	8.0 授業時間	
責任授業時間数		(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	(5.0 授業時間)	任期付教員（講師）8 コマ

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19) 中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成すること。
- 2 「IV 2 専任教員個別表」(表20) で算出した毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載すること。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入すること。
- 4 専任の教授、助教授、講師の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄は空欄でよい。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記すること。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)		
		教授	助教授	講師
文学部	最低	10,309,680	8,901,640	5,637,940
	平均	13,086,453	10,143,112	6,669,830
生活科学部	最低	11,005,330	8,793,420	7,183,040
	平均	13,665,586	10,722,235	7,183,040
人間社会学部	最低	11,150,660	9,475,670	7,705,000
	平均	12,643,214	9,961,737	7,922,027
文芸資料研究所	最低	—	10,511,820	—
	平均	—	10,511,820	—
教職課程	最低	12,956,030	10,319,720	—
	平均	12,956,030	10,319,720	—
図書館学課程	最低	—	10,554,640	—
	平均	—	10,554,640	—
外国語教育研究センター	最低	13,758,080	9,880,850	6,039,803
	平均	13,992,571	9,880,850	6,039,803

- [注] 1 本「大学基礎データ」作成前年1月から12月の1年間を対象として作成すること。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入すること。
 3 原則として「IV 1 全学の教員組織」に掲げた組織の順に作成すること。
 4 「最低」、「平均」の記入にあたっては、上記1の期間の途中で採用及び退職した者を除くこと。

6 学術賞の受賞状況

(表26)

学部・研究科等	学 術 賞 の 受 賞 数					
	2002年度		2003年度		2004年度	
	国 内	国 外	国 内	国 外	国 内	国 外
文 学 部			1			
計			1			

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。
 2 学内の複数の教員の共同研究の成果が受賞した場合は、重複して記載しないこと。
 3 ここでいう学術賞は全国レベルの学会もしくは国際的レベルの学会等によるものに限ること。

7 特許出願・登録状況

該当なし

(表27)

学部・研究科等	出 願 件 数			登 録 件 数		
	2002年度	2003年度	2004年度	2002年度	2003年度	2004年度
計						

- [注] 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

8 産学官連携による研究活動状況

(表28)

学部・研究科等		2002年度		2003年度		2004年度	
		共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数
文 学 部	新規	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0
生 活 科 学 部	新規	0	1	0	1	0	0
	継続	0	0	0	0	0	1
人 間 社 会 学 部	新規	—	—	—	—	0	0
	継続	—	—	—	—	0	0
文 芸 資 料 研 究 所	新規	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0
教 職 課 程	新規	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0
図 書 館 学 課 程	新規	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0
外国語教育センター	新規	—	—	—	—	0	0
	継続	—	—	—	—	0	0
計	新規	0	1	0	1	0	0
	継続	0	0	0	0	0	1

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

2 本表における「共同研究」とは、民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、大学の教育研究職員と共通の課題について共同で行う研究をさす。学内共同研究は含めないこと。また、「受託研究」とは、民間企業、自治体等からの受託に基づき、専ら大学の教育研究職員が行う研究をさす。

3 複数の学部・学科が共同で産学官連携の研究活動を行っている場合は、重複して記載しないこと。

4 複数年にわたる研究については、初年度を「新規」欄に、次年度以降を「継続」欄に記入すること。

9 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備 考
文 学 部	13,300,000	13,300,000	38	350,000	350,000	
生 活 科 学 部	14,000,000	14,000,000	40	350,000	350,000	
人 間 社 会 学 部	5,250,000	5,250,000	15	350,000	350,000	
文 芸 資 料 研 究 所	350,000	350,000	1	350,000	350,000	
教 職 課 程	700,000	700,000	2	350,000	350,000	
図 書 館 学 課 程	350,000	350,000	1	350,000	350,000	
外国語教育研究センター	1,400,000	1,400,000	4	350,000	350,000	
計	35,350,000	35,350,000	101	350,000	350,000	

[注] 1 本表においては専任教員に助手を含めること。

2 2004年度の実績をもとに作表すること。したがって「専任教員数」欄にも、2004年度の人数を記入すること。

3 研究費総額 (A) には、学科、講座もしくは研究室ごとに支給される研究費も含めて記入すること。ただし、間接経費は除く。研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費 (図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等) を記入すること。

10 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学 長期	学会等出張旅費		備考
		長期	短期		国外	国内	
文学部	総額				438,980	1,088,400	専任教員数 38人
	支給件数				3	20	
	1人あたり支給額				11,256	27,908	
生活科学部	総額				650,000	1,114,850	専任教員数 40人
	支給件数				3	16	
	1人あたり支給額				16,667	28,586	
人間社会学部	総額				634,626	238,140	専任教員数 15人
	支給件数				2	4	
	1人あたり支給額				42,308	15,876	
文芸資料研究所	総額				0	333,360	専任教員数 1人
	支給件数				0	6	
	1人あたり支給額				0	333,360	
教職課程	総額				0	100,000	専任教員数 2人
	支給件数				0	2	
	1人あたり支給額				0	50,000	
図書館学課程	総額				0	191,010	専任教員数 1人
	支給件数				0	3	
	1人あたり支給額				0	191,010	
外国語教育センター	総額				0	100,000	専任教員数 4人
	支給件数				0	2	
	1人あたり支給額				0	25,000	
計	総額				1,723,606	3,165,760	専任教員数 101人
	支給件数				8	53	
	1人あたり支給額				17,236	31,344	

- [注] 1 本表においては専任教員に助手を含めること。
2 2004年度の実績をもとに作表すること。したがって「専任教員数」欄にも、2004年度の人数を記入すること。
3 「1人あたりの支給額」欄には、総額を当該学部の当該年度の専任教員数で割って算出した額を記入すること。
4 教員研究旅費には、前表「6 専任教員の研究費(実績)」(表29)は含めないこと。
5 それぞれの研究旅費の支給条件(例えば、受給資格、支給額の上限等)を欄外に注記すること。
6 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とする。

11 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
文 学 部	11,350,772	7	
生 活 科 学 部	11,600,000	3	
人 間 社 会 学 部	0	0	
文 学 研 究 科	0	0	
生 活 科 学 研 究 科	0	0	
文 芸 資 料 研 究 所	5,000,000	1	
教 職 課 程	400,000	1	
図 書 館 学 課 程	0	0	
博 物 館 学 課 程	0	0	
外国語教育研究センター	0	0	
計	28,350,772	12	

[注] 1 2004年度の実績を記入すること。

2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される研究費（いわゆる学内科研費）を指す。

12 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2002年度		2003年度		2004年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
文 学 部	研 究 費 総 額	56,253,000	100%	43,420,000	1.0	43,350,772	100%	
	学内	経 常 研 究 費 (教員当り積算校費総額)	14,350,000	25.5	14,700,000	33.9	13,300,000	30.7
		学内共同研究費	14,103,000	25.1	12,620,000	29.1	11,350,772	26.2
	学	科学研究費補助金	27,800,000	49.4	16,100,000	37.0	18,700,000	43.1
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金						
	外	奨学寄附金						
		受託研究費						
		共同研究費						
		そ の 他						
生活科学部	研 究 費 総 額	44,542,000	100%	20,900,000	100%	27,800,000	100%	
	学内	経 常 研 究 費 (教員当り積算校費総額)	14,700,000	33.0	14,350,000	68.7	14,000,000	50.4
		学内共同研究費	29,542,000	66.3	2,850,000	13.6	11,600,000	41.7
	学	科学研究費補助金			3,200,000	15.3	1,700,000	6.1
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金						
	外	奨学寄附金						
		受託研究費	300,000	0.7	500,000	2.4	500,000	1.8
		共同研究費						
		そ の 他						

学部・研究科等	研究費の内訳		2002年度		2003年度		2004年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
人間社会学部	研究費総額		—	—	—	—	10,450,000	100%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	—	—	—	—	5,250,000	6.5
		学内共同研究費	—	—	—	—		
	学	科学研究費補助金	—	—	—	—	5,200,000	93.5
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	—	—	—	—		
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	—	—	—	—		
	外	奨学寄附金	—	—	—	—		
		受託研究費	—	—	—	—		
		共同研究費	—	—	—	—		
その他		—	—	—	—			
文芸資料研究所	研究費総額		350,000	100%	350,000	100%	5,350,000	100%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	350,000	100.0	350,000	100.0	350,000	6.5
		学内共同研究費					5,000,000	93.5
	学	科学研究費補助金						
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金						
	外	奨学寄附金						
		受託研究費						
		共同研究費						
その他								

学部・研究科等	研究費の内訳		2002年度		2003年度		2004年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
教職課程	研究費総額		1,300,000	100%	1,250,000	100%	1,100,000	100%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	700,000	53.8	700,000	56.0	700,000	63.6
		学内共同研究費	600,000	46.2	550,000	44.0	400,000	36.4
	学外	科学研究費補助金						
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団等からの研究助成金						
		奨学寄附金						
		受託研究費						
		共同研究費						
		その他						
図書館学課程	研究費総額		550,000	100%	350,000	100%	350,000	100%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	350,000	63.6	350,000	100.0	350,000	100.0
		学内共同研究費	200,000	36.4				
	学外	科学研究費補助金						
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団等からの研究助成金						
		奨学寄附金						
		受託研究費						
		共同研究費						
		その他						

学部・研究科等	研究費の内訳		2002年度		2003年度		2004年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
外国語教育研究センター	研究費総額		—	—	—	—	1,400,000	100%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	—	—	—	—	1,400,000	100.0
		学内共同研究費	—	—	—	—		
	学	科学研究費補助金	—	—	—	—		
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	—	—	—	—		
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	—	—	—	—		
		奨学寄附金	—	—	—	—		
	外	受託研究費	—	—	—	—		
		共同研究費	—	—	—	—		
		その他	—	—	—	—		

13 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2002年度			2003年度			2004年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A * 100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A * 100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A * 100
文 学 部	3	2	66.7%	5	1	20.0%	7	3	42.9%
生 活 科 学 部	4	0	0.0%	14	1	0.0%	13	1	7.7%
人 間 社 会 学 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文 芸 資 料 研 究 所	0	0	—	0	0	—	0	0	—
教 職 課 程	0	0	—	0	0	—	0	0	—
図 書 館 学 課 程	0	0	—	0	0	—	0	0	—
外 国 語 教 育 研 究 セ ン タ ー	—	—	—	—	—	—	0	0	—
計	7	2	28.6%	19	2	10.5%	20	4	20.0%

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないこと。

14 学外からの研究費の総額と一人当たりの額

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金			その他の学外研究費			合 計 (A + B)	専任教員1人 当たり合計額
		科学研究費補 助金総額(A)	うちオーバ ヘッドの額	専任教員1人 当たり科研費	その他の学外研 究費総額(B)	うちオーバ ヘッドの額	専任教員1人当 たり学外研究費		
文 学 部	38	18,700,000	0	492,105	0	0	0	18,700,000	492,105
生 活 科 学 部	40	1,700,000	0	42,500	500,000	0	12,500	2,200,000	55,000
人 間 社 会 学 部	15	5,200,000	0	346,667	0	0	0	5,200,000	346,667
文芸資料研究所	1	0	0	0	0	0	0	0	0
教 職 課 程	2	0	0	0	0	0	0	0	0
図 書 館 学 課 程	1	0	0	0	0	0	0	0	0
外国語教育研究 センター	4	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	101	25,600,000	0	253,465	500,000	0	4,950	26,100,000	258,416

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

2 2004年度の実績をもとに作表すること。したがって「専任教員数」欄にも、(N-1)年度の人数を記入すること。

3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当する。

15 教員研究室

(表35)

学 部 研 究 科	室 数			総面積(㎡) (B)	1室当たりの平均面積(㎡)		専任教員数 (C)	個室率(%) (A/C*100)	教員1人当た りの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
文学研究科	0	3	3	79	0	26	0	0	0	
生活科学研究科	0	1	1	27	0	27	0	0	0	
文 学 部	38	1	39	596	14.9	14.6	34	100	18	
生活科学部	40	0	40	1,716	37.6	0	36	100	48	
人間社会学部	19	0	19	368	19.4	0	19	100	19	
文芸資料研究所	0	1	1	81	0	80.7	1	0	81	1名
教 職 課 程	2	0	2	29	14.4	0	2	100	14	
図書館学課程	2	0	2	28	13.9	0	1	100	28	
外国語教育研究 センター	4	1	5	144	15.4	82.6	4	100	36	
計	105	7	112	3,068			97		32	

[注] 1 「室数」、「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室についてこれを記入すること。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出すること。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入すること。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入すること。

5 専任教員数には助手を含めないこと。

IV 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (㎡)	設置基準上必要 校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	設置基準上必要 校舎面積 (㎡)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・学生 自習室総面積 (㎡)
90,853㎡	33,680㎡	37,193㎡	18,982㎡	54	5,979㎡

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられる。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めてもよい。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表すること。

2 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	学生総数	在籍学生 1人当たり 面積(㎡)	備考
文学部	講義室	0	0	専用	1,470	1,535	0.00	
		41	5,281	共用	3,422	3,438	1.54	生活科学部、人間社会学部（学生数1,903）と共用
	演習室	6	205	専用	1,470	1,535	0.13	
		0	0	共用	3,422	3,438	0.00	生活科学部、人間社会学部（学生数1,903）と共用
	学生自習室	0	0	専用	1,470	1,535	0.00	
0		0	共用	3,422	3,438	0.00	生活科学部、人間社会学部（学生数1,903）と共用	
生活科学部	講義室	0	0	専用	1,352	1,566	0.00	
		41	5,281	共用	3,422	3,438	1.54	文学部、人間社会学部（学生数1,872）と共用
	演習室	7	424	専用	1,352	1,566	0.27	
		0	0	共用	3,422	3,438	0.00	文学部、人間社会学部（学生数1,872）と共用
	学生自習室	0	0	専用	1,352	1,566	0.00	
0		0	共用	3,422	3,438	0.00	文学部、人間社会学部（学生数1,872）と共用	
人間社会学部	講義室	0	0	専用	600	337	0.00	
		41	5,281	共用	3,422	3,438	1.54	文学部、生活科学部（学生数3,101）と共用
	演習室	2	39	専用	600	337	0.12	
		0	0	共用	3,422	3,438	0.00	文学部、生活科学部（学生数3,101）と共用
	学生自習室	0	0	専用	600	337	0.00	
0		0	共用	3,422	3,438	0.00	文学部、生活科学部（学生数3,101）と共用	

文学研究科	講義室	0	0	専用	53	30		
	演習室	3	98	専用	53	30		
	学生自習室	3	58	専用	53	30		
生活科学研究科	講義室	0	0	専用	30	12		
	演習室	1	29	専用	30	12		
	学生自習室	2	54	専用	30	12		
	体育館	1	2,245	共用				
	講堂	0	0	—	3,422			

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載すること。

2 当該施設を複数学部、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「学生総数」欄にも共用する学部、短期大学等の学生を含めた数値を記入すること。ただし、大学院研究科との共用関係については、ここには記入しないこと。したがって「在籍学生1人当たり面積」の算出に当たっても、大学院学生数は除くこと。

また、「在籍学生1人当たり面積」の算出には、昼夜開講制の場合の夜間主コースの学生数や固有の施設を持たない2部（夜間部）の学生数は含めないこと。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入すること。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入すること。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載すること。

6 「在籍学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求めること。

7 他学部等と共用で使用している講義室・演習室等の「在籍学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出すること。

3 学部の学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部等	備考
コンピュータ演習室	3	271	3,422	0.08	文学部・生活科学部・人間社会学部	再掲
視聴覚教室	1	283	3,422	0.08	文学部・生活科学部・人間社会学部	再掲
LL教室	1	110	3,422	0.03	文学部・生活科学部・人間社会学部	再掲
書道室	1	70	1,470	0.05	文学部	再掲
調理学実習室	3	490	1,352	0.36	生活科学部	再掲
給食経営管理実習室	1	107	1,352	0.08	生活科学部	再掲
栄養教育実習室	1	103	1,352	0.08	生活科学部	再掲
臨床栄養実習室	1	165	1,352	0.12	生活科学部	再掲
調理学実験室	1	54	1,352	0.04	生活科学部	
食品化学、食品加工実験室	1	158	1,352	0.12	生活科学部	
微生物学実験室・食品衛生学実験室	1	133	1,352	0.10	生活科学部	
生理学実験室	1	159	1,352	0.12	生活科学部	
動物実験室	1	42	1,352	0.03	生活科学部	
化学実験室	1	165	1,352	0.12	生活科学部	
精密機械室	1	26	1,352	0.02	生活科学部	
標本室	1	26	1,352	0.02	生活科学部	
蒸留室	1	26	1,352	0.02	生活科学部	
動物飼育室	1	15	1,352	0.01	生活科学部	
天秤室	1	20	1,352	0.01	生活科学部	
生活化学分析機器室	1	39	1,352	0.03	生活科学部	
電子顕微鏡共同利用室	1	53	1,352	0.04	生活科学部	
アパレル工学・デザイン演習室	1	54	1,352	0.04	生活科学部	再掲
アパレルデザイン実習室	1	211	1,352	0.16	生活科学部	再掲
造形・デザイン実習室	1	158	1,352	0.12	生活科学部	再掲
環境デザイン立体造形実習室	1	135	1,352	0.10	生活科学部	再掲

生活材料学実験室	1	134	1,352	0.10	生活科学部	
整理染色学実験室	1	134	1,352	0.10	生活科学部	
生理衛生機能実験室	1	135	1,352	0.10	生活科学部	
暗室・コンピュータデザイン室	1	27	1,352	0.02	生活科学部	
恒温恒湿室	1	54	1,352	0.04	生活科学部	
人工気候室	1	54	1,352	0.04	生活科学部	
生体機能測定機器室	1	27	1,352	0.02	生活科学部	
総合演習室	1	21	1,352	0.02	生活科学部	再掲
映像演習室	1	70	1,352	0.05	生活科学部	再掲
情報演習室	1	71	1,352	0.05	生活科学部	再掲
心理演習室	1	16	1,352	0.01	生活科学部	再掲
音楽室	1	106	1,352	0.08	生活科学部	再掲
器学レッスン室	1	38	1,352	0.03	生活科学部	再掲
図工室	1	85	1,352	0.06	生活科学部	再掲
保育演習室	1	165	1,352	0.12	生活科学部	再掲
計	44	4,210				

- [注] 1 原則として学部ごとにまとめること。
- 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入すること。
- 3 当該施設を複数学部もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないこと。
- 4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入すること。
- 5 教養教育のための施設については「使用学部等」欄にその旨記入すること。
- 6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「2 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めてもよい。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入すること。
- 7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載すること。

4 大学院研究科の学生用実験・実習室の面積・規模

(表39)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用研究科等	備考
食物・栄養学専攻実験室	1	26	24	1.1	生活科学研究科	
計	1	26	24			

- [注] 1 原則として研究科ごとにまとめること。
 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入すること。
 3 当該施設を他研究科もしくは学部等と共用している場合は、その研究科、学部名等を「使用研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないこと。
 4 前2表「2 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)、「3 学部の学生用実験・実習室の面積・規模」(表38)に記載の実験・実習室等を本表に記載する場合には、「備考」欄に「【再掲】」と記入すること。
 5 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載すること。

5 規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学部名	期区分	収容人員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率(%)	備考
文学部	前期	1 ~ 20	0	501	0	0.0%	
		21 ~ 50	11		89	17.8%	
		51 ~ 100	23		240	47.9%	
		101 ~ 200	14		133	26.5%	
		201 ~ 500	5		39	7.8%	
		合計	53		501	100.0%	
	後期	1 ~ 20	0	496	0	0.0%	
		21 ~ 50	11		92	18.5%	
		51 ~ 100	23		230	46.4%	
		101 ~ 200	14		131	26.4%	
		201 ~ 500	5		43	8.7%	
		合計	53		496	100.0%	
生活科学部	前期	1 ~ 20	3	392	9	2.3%	
		21 ~ 50	8		71	18.1%	
		51 ~ 100	23		144	36.7%	
		101 ~ 200	13		135	34.4%	
		201 ~ 500	5		33	8.4%	
		合計	52		392	100.0%	
	後期	1 ~ 20	2	385	6	1.6%	
		21 ~ 50	8		74	19.2%	
		51 ~ 100	23		150	39.0%	
		101 ~ 200	14		123	31.9%	
		201 ~ 500	5		32	8.3%	
		合計	52		385	100.0%	

人間社会学部	前期	1 ~ 20	0	119	0	0.0%	
		21 ~ 50	3		2	1.7%	
		51 ~ 100	20		97	81.5%	
		101 ~ 200	10		14	11.8%	
		201 ~ 500	3		6	5.0%	
		合 計	36		119	100.0%	
	後期	1 ~ 20	0	173	0	0.0%	
		21 ~ 50	5		14	8.1%	
		51 ~ 100	20		104	60.1%	
		101 ~ 200	11		50	28.9%	
		201 ~ 500	4		5	2.9%	
		合 計	40		173	100.0%	

[注] 1 原則として学部ごとに作成すること。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目数を示す。なお、使用率は、(使用度数/総授業時数)により算出する。

[注] 1. 調査は、一般教室（講義室）と学科所属演習室を対象とした。実験・実習室は含まない。大学院授業等は含まない。

2. 文生共通科目、総合教養科目は、それぞれの学部算入した。ただし、必修科目については学科単位での授業のため、学部ごとに算入した。

3. 学部共通科目は、学部ごとに算入した。人間社会学部のみ履修可能な総合教養科目は、人間社会学部に算入した。

4. 通年科目は、各期区分に算入した。

5. 教職科目は、学部ごとに算入した。

6. 教職以外の資格科目は、それぞれの学部算入した。

7. 調査の時点で、人間社会学部は1・2年生のみのため、使用教室、使用度数が他学部より少ない。

VII 図書館及び図書等の資料、学術情報

1 図書、資料の所蔵数

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料の所蔵数 (点数)	電子ジャーナルの種類 (種類)	備考
	図書の冊数	開架図書の冊数(内数)	内 国 書	外 国 書			
実践女子大学 図書館	461,763	340,754	4,009種類	320種類	10,228種類	332種類	
計	461,763	340,754	4,009種類	320種類	10,228種類	332種類	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済のものは図書の冊数に加えてよい。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めること。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し備考欄にその旨を注記すること。

2 過去3年間の図書の受け入れ状況

(表42)

図書館の名称	2002年度	2003年度	2004年度
実践女子大学図書館	9,784	18,305	14,068
計	9,784	18,305	14,068

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B * 100	その他の学習室 の座席数 ()	備 考
	座席数 (A)				
実践女子大学図書館	261	3,422	7.6		現状は人間社会学部人間社会学科が完成年度を迎えておらず、学部学生3,102、大学院生79、となるが、人間社会学科の収容定員(600名)を含むと学生収容定員は3,422名となる。
計	261	3,422	7.6		

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えること。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入すること。
- 3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部学生、大学院学生、専攻科、別科、短期大学ごとに記入すること。

※実践女子短期大学は大学から徒歩8分ほどの別キャンパスにあり、基準を満たす図書館を設置している。
短期大学学生は大学図書館を自由に利用することができるが、共用とはなっていない。

Ⅷ 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況 平成16年度

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象 学生数(A)	在籍学生 総数(B)	在籍学生数に 対する比率 $A/B * 100$	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
桜 奨 学 金	学内	給付	1	3,439	0.03	300,000	300,000
下 田 奨 学 金	学内	給付	7	3,439	0.2	2,100,000	300,000
一 般 奨 学 金	学内	貸与	21	3,439	0.61	13,104,000	624,000
応 急 特 別 奨 学 金	学内	貸与	0	3,439	0	0	0
学 納 金 緊 急 貸 与	学内	貸与	0	3,439	0	0	0
日 本 育 英 会 第 1 種	学外	貸与	209	3,439	6.08		自宅53,000 自宅外63,000
日本育英会 きぼう21プラン	学外	貸与	371	3,439	10.79		3万、5万、8万、10 万の中から選択
臼 田 町 奨 学 生	学外	貸与	1	3,439	0.03	480,000	480,000
大 田 区 奨 学 生	学外	貸与	2	3,439	0.06	1,056,000	528,000
加 茂 市 奨 学 生	学外	貸与	1	3,439	0.03	360,000	360,000
岐 阜 県 選 奨 生	学外	貸与	1	3,439	0.03	192,000	192,000
交 通 遺 児 育 英 会	学外	貸与	1	3,439	0.03	720,000	720,000
財 団 法 人 朝 鮮 奨 学 会	学外	給付	1	3,439	0.03	300,000	300,000
財 団 法 人 長 崎 県 育 英 会	学外	貸与	1	3,439	0.03	444,000	444,000
財 団 法 人 守 谷 育 英 会	学外	給付	1	3,439	0.03	420,000	420,000
電 通 育 英 会	学外	貸与	1	3,439	0.03	480,000	480,000
新 潟 県 奨 学 生	学外	貸与	1	3,439	0.03	612,000	612,000
八 戸 市 奨 学 生	学外	貸与	1	3,439	0.03	480,000	480,000

福島県奨学金	学外	貸与	1	3,439	0.03	480,000	480,000
宮崎県育英資金奨学生	学外	貸与	1	3,439	0.03	468,000	468,000
三郷市奨学金	学外	貸与	1	3,439	0.03	600,000	600,000
財団法人国際協和奨学金	学外	貸与	1	3,439	0.03	960,000	960,000

[注] 1 2004年度実績をもとに作表すること。

2 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載すること。

3 日本学生支援機構による奨学金も記載すること。

2 生活相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						14年度	15年度	16年度	
学生相談センター	8	4	6	200	8 : 45 ~ 16 : 30	839	1093	855	*

[注] 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記載すること。

* 専任 教員 5

職員 2（保健師 1、看護師 1）

嘱託カウンセラー 1

非常勤 カウンセラー 2（臨床心理士 1）

事務 2

Ⅸ 財 政

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

（表46-1）

	比 率	算 式（*100）	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 57.9	% 55.5	% 59.3	% 58.3	% 58.0	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	75.9	72.5	79.0	76.0	76.9	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	21.6	20.7	21.1	21.2	20.0	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.4	5.5	6.4	6.8	6.0	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	
6	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	84.3	83.9	88.0	88.4	87.7	
7	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	92.9	89.4	94.3	108.8	92.6	
8	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	76.3	76.6	75.1	76.8	75.4	
9	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	2.4	2.1	2.3	1.6	3.5	
10	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	12.4	11.9	12.3	12.4	11.9	
11	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.3	6.2	6.7	18.8	5.4	
12	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{消 費 支 出}}$	8.9	8.7	8.4	8.3	8.6	

[注] 本表（表46-1）については、「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入すること。なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、表46-1のみを作表のこと。

1-2 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの) ※私立大学のみ

(表46-2)

	比 率	算 式 (*100)	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 52.4	% 48.5	% 50.9	% 49.3	% 51.7	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	63.9	57.5	62.6	58.8	61.6	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	22.0	20.9	20.5	19.6	20.3	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	3.6	4.1	5.0	5.1	4.8	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	
6	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	78.6	77.5	78.5	74.6	77.5	
7	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	91.0	81.7	82.0	77.3	83.2	
8	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	82.0	84.3	81.3	83.3	83.9	
9	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	2.2	1.7	2.1	1.3	1.6	
10	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.5	7.0	7.7	7.4	6.7	
11	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	13.6	5.1	4.2	3.4	6.8	
12	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{消 費 支 出}}$	10.4	10.1	9.1	9.7	10.0	

[注] 本表(表46-2)については、「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書(大学単独のもの)を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入すること。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表47）

	比 率	算 式（*100）	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 83.8	% 81.8	% 75.8	% 81.1	% 83.7	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	16.2	18.2	24.2	18.9	16.3	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	15.0	14.2	13.5	14.6	15.6	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	6.3	5.7	5.7	5.6	5.5	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	78.6	80.1	80.8	79.8	78.9	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△ 12.3	△ 9.1	△ 7.4	△ 8.8	△ 6.7	
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	106.5	102.1	93.9	101.7	106.0	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	89.4	86.7	80.4	86.0	88.5	
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	256.9	318.2	423.9	335.8	297.9	
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.4	19.9	19.2	20.2	21.1	
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	27.2	24.8	23.8	25.3	26.7	
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	278.0	362.2	510.2	421.9	383.6	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	56.4	57.5	57.7	59.2	62.1	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.8	97.1	97.4	95.3	93.1	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	42.9	45.4	47.8	47.0	40.1	

[注] 1 本表については、「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入すること。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわす。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況について

(表48)

		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・実 践女子学園広報	大学機関紙・ 実践だより	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があ れば対応する
教 職 員	資金	○	○	○	○		○		
	消費	○	○	○	○		○		
	貸借	○	○	○	○		○		
在 学 生	資金	○	○	○	○		○		
	消費	○	○	○	○		○		
	貸借	○	○	○	○		○		
卒 業 生	資金	○	○	○	○		○		
	消費	○	○	○	○		○		
	貸借	○	○	○	○		○		
父 母 等	資金	○		○	○		○		
	消費	○		○	○		○		
	貸借	○		○	○		○		
社会・一般 (不特定多数)	資金	○			○		○		
	消費	○			○		○		
	貸借	○			○		○		
そ の 他 ()	資金								
	消費								
	貸借								

- [注] 1 本表については、資金収支計算書（資金）・消費収支計算書（消費）・貸借対照表（貸借）の情報公開の実施方法に関して、該当欄へ対象者ごとに○を付すこと。
- 2 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付すこと。
- 3 「その他」欄を利用して回答する場合は、カッコ内に具体的な名称を記入すること。